無產階級戰鬪雜誌

進め

The Susume

一九二九年の無產運動……下村靜夫
吾等の前衛思出話……吉田源藏

12月号

定價十錢

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

本號一瞥

一九二九年を顧みて……………………卷頭言
日本共産黨事件記事解禁に際して…………下村靜夫
日水共産黨の成立より檢擧まで…………
吾等の前衞思出話……………………吉田源藏
福本和夫氏に關する一つのエピソート……山陰の一農民
一九二九年の無産運動……………………
一、中間派陣營の展望……………………下村靜夫
全國勞農青年同盟の解體と其の闘爭の成果　村田讓二
勞働者の見た勞農黨……………………龜戸S生
組合同盟大會に現れた大衆の戰闘化………西野辰三郎
組合同盟大會提出の階級的議案と組合同盟の怪文書……
組合同盟大會傍聽記……………………一傍聽者
進め讀者グループと勞農組合との關係に就いて
全土戰報
朝鮮社會運動小史(六)(資料)…………裵成龍
在日本朝鮮勞働總同盟の當面問題に關する
意見書(資料)……………………
社會主義運動思出話(十二)(特別讀物)……岡野辰之介

勞働者の室を飾れ

マルクス大寫眞

内容

▲マルクスの生家
▲マルクス夫人
▲マルクスの原稿
▲マルクスの博士免狀
▲マルクスの署名
▲マルクスの旅行免狀
▲ロンドン亡命中のマルクス
▲ロンドンに於けるマルクスの住宅
▲資本論執筆當時のマルクス
▲晩年のマルクス
▲マルクスの墓

定價五十錢

マルクス寫眞集

縦一尺五寸横九寸勞働者の家を飾るにふさはしきものだ。

(定價三十錢)

發行所

東京市外大井町坂下二二六八〇

進め社本部

振替東京六九八五三番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一九二九年を顧みて

一

一九二九年の一年間嵐は强くふき荒れた。嵐にもまれて强い木は成長したがその反面において弱い木は一たまりもなく吹ぎ飛ばされて行つた。[illegible]山本宣治氏が治安維持法改正案の通過した夜暗夜され、左翼陣營に對する飽くなき追究は、[illegible]となつて現れた。

弱き小ブル的インテリゲンチヤの退却の引きも切らざる狀勢にもかゝはらず、襲ひかゝる日本資本主義の客觀的諸狀勢は、勞働者農民の極度なる生活の窮乏となつて現れ、勞働者農民の止むに止まれざる鬪爭は、急速に左翼化せずにはゐなかつた。右翼陣營における總同盟の分裂、全國農民組合における蹶全日幹部の失脚、中間派社會民主々義政黨日本大衆黨の分裂より端を發した組合同盟反對派の尖銳なる增大、全國勞農靑年同盟の果敢なる英雄的行動等々を見よ。その他指導なきストライキの續出、岐阜縣下における農民の××高知縣下における漁民騷動等々大衆の左翼化を雄辯に證明する事實だ。

かゝる戰鬪的大衆の進出にもかゝはらず、支配階級の××に呼應して、僞瞞的ロ吻をもらす、左右兩翼の社會民主々義首領の裏切りは愈々露骨となり彼等の本質は徹底的に曝露された。

二

われらの雜誌「進め」は一九二九年に於ける階級鬪爭の嵐の中にあつて、何人にも恥づるところなき役割を果した。

今年初頭において、日本大衆黨結成に際しての麻生、平野等の醜惡事件を徹底的に曝露して、彼等を完膚なきまでに粉碎し、左翼の假面をかぶる勞農一派の正體をも又大衆の面前に、鬪爭を通じて明瞭ならしめた。日本大衆黨に對するファン的陶醉を、大衆の頭上よりはらひのけた。日本大衆黨は爲めにもろくも崩壞し、全國勞農靑年同盟、組合同盟反對派のすさまじき進出が初まつた。

「進め」は、かゝる中間派陣營より進出した戰鬪的勞働者農民の强力なる支持のもとに、其の編輯方針を確立し、廣く工場に農村に持ち込まれた。組合同盟全國大會において、組合同盟のダラ幹望月源治君は、進めの曝露記事を武器とする工場勞働者の壓倒的力によつて、見苦しき慘敗すらなした。日本大衆黨幹部は「進め如きは問題ではない」と嘯いてゐるけれども、彼等は事每に敗北しつゝある。何故ならば、彼等は本質的に裏切の常習犯であるからだ。彼等はその口吻の如何にかゝはらず、最も强力なる恐しき對照物として、われらの「進め」の一擧一動の注目に怠りない。組合同盟大會において、藤岡文六君等が進め社本部員の入場を暴力的に阻止せんとした一事をもつても、彼等の心事をうかゞう事が出來るではないか。

三

「進め」の一ケ年における鬪爭を通じて、その編輯方針は確立し、廣く工場農村に持ち込まれるや、彈壓は立ちどころに加重した。七月以來の連續的發禁は本社の財政的基礎をすら脅かすに至つた。

無產階級の雜誌は、無產階級の力によつて固くまもられなければならぬ。進め讀者の大衆化も進め內容の大衆化も、一にかゝつて全國同志の協力にまたねばならぬ。讀者網の大衆的確立と、工場農村よりの戰鬪的レポは今や絕對に必要な事である。十錢の雜誌は營利事業で發行されるものではない。來るべき一九三〇年においては、今年の如く三回の休刊をなす如き退却をなさしめてはならぬ。

日本共產黨事件の記事解禁に際して

下村靜夫

一

昨年三月十五日以來、長い間「大陰謀事件」として發表を禁止されてゐた日本共產黨事件の記事解禁が十一月五日行はれ、ブルジョア新聞を先頭にして鳴物入りの發表が初まつた。

日本共產黨事件とは一體如何なるものか、ブルジョア新聞ですら、彈壓しても擡頭する事を認めてゐる共產黨事件死刑をもつてする治安維持法の下においてすら尙一千餘名に及ぶ黨員をもつ共產黨――それこそまさしく、全く不可解な存在ではあるまいか。ブルジョアジイが全く蛇蝎視する此の共產黨なるものは、ブルジョア新聞ですら此の資本主義社會においては必然的な產物である事を認めてゐる。

資本主義社會において、無產階級運動勃興の必然性は何人も認める、共の無產階級運動で一番尖鋭な運動形態である……もし、否認せんとする者があるならば、全く海底に住む目無しの魚の類でもあらう。

日本は資本主義國であるかと質問されて「ノー」と答へるもの丶みが、……を否認する勇敢なる人士である。日本は資本主義國であるを肯定するものは、否でも應でも、その存在を認めざるを得ない。

日本ばかりではない。獨逸にもある。佛國にもある。英國、伊太利、米國、支那その他世界中のどんな小さな國にでも此の運動は存在してゐる。日本ばかりの特殊狀勢ではない。たゞ、日本共產黨事件を大きく陰謀事件として特長づけるのは、共產黨ではなく、何等の政治的自由を認めてゐない日本の政治機構そのものである。なぜならば、他の文明國のほとんどが、共產黨を公然の運動として認めてゐるからである。

日本のブルヂョア法律が、此の共產黨事件を特長づけたのであつて、共產黨そのものは資本主義社會においては……たいして特長のあるものではない。日本の特長的反動法律に、共產黨がひつかゝつたに過ぎない。

それは兎に角として、今次の共產黨事件において、一千餘名の黨員が治安維持法を覺悟して戰つた事に對して、一……

二

民政黨組閣以來、政友會の疑獄事件が大々的に擴大されてゐる、これは、ブルジョア新聞に報導されてゐるからくわしく說明するまでもあるまい。民政黨が政友會を暴露してさんざんやつゝけたと思ふと今度は民政黨の大官連の罪惡が暴露された。

日本は俺れ一人で背負つて立つ樣に云つた所謂國士の小川平吉が政治を喰物にする大先生であつたり、勞働農民黨解散の張本人もその例にもれなかつたりすると、これらの政治家によつてつくられた治安維持法が全く特殊である事は間違ひのないところだ。治安維持法改正の急先鋒小川平吉は、何百萬圓の賄賂を取つて、自分等の法律で獄中にある。自分等の法律ですら獄に入る程だから、……にひつかゝつて投獄されるのは當然過ぎる當然な事ではなからうか。

大金持ちと利權の取引きをやつて政治を喰物にするブルジョア政黨と、……どちらが偉いかと勞働者や百姓に問いたら、どんな答辯をするかは極めて興味の深い事であらう。

三

最近、犧牲者救援會より發表された「救援」特別號によれば……ブルジョア新聞に掲載された……逆宣傳がことごとく反駁されてゐる。第一、ブルジョア新聞そのものが金持ちの機關であるからその記事はアテにならぬものだ。これは間違ひない。デマの一つとして幹部の待合遊が掲載されてゐるに對し、救援會「救援特別號」はその無實なる事を說明してゐる。曰く「ブルジョア新聞の共產黨事件の記事の中で特に人心を打つたものは所謂首領幹部の遊興問題である。吾々にはブルジョア新聞に種を提供した警視廳がどうしてこんな資料を手にしたかを知らない。だが警視廳に對して常に尻つぽを握られてゐる待合の女將藝妓が容易に警視廳の命令で、でたらめな調印に捺印する事はたしかだ。

こんな事が傳つてゐる。同志鍋山は何等の××にも答へなかつた。その時特高課某だかゞ「そんならお前が共產主義者としての顏向けが出來ない樣にしてやる」と云つて同志鍋山と格鬪を演じたといふ事である。奇怪な事は、三月十四日に國外に脫出したと云はれる同志佐野が四月九日から十月一日迄の間に一回待合に行つてゐることである。こ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

れを以てしても如何に遊興問題がでたらめであるかを知る事が出來る。（以下畧）」

註、犧牲者救援會とは、解放運動の犧牲者の爲めに家族の生活、差入れ等の一切の世話をして、後顧の憂なからしめる團體である。

ブルジョア政黨の待合遊び及び甚しい待合政治は當然の事として報道するブルジョア新聞が、一度無産階級の事になると待合で政治的致命傷を與へようと狂奔するから滑稽も極まれりである。

又、女子共産黨員を盡く情婦あつかひにし淫奔極まりなきもの﹅如く逆宣傳してゐるがブルジョア政治家や、ブルジョア陣營の花柳界記事、妾狂ひを當然の事なりとする、ブルジョア新聞が、開き直つて云へた義理でもあるまい。彼等女性が「赤き戀」を得るために共産黨に入黨したものだといふならば、治安維持法の手前だけでも甚しく見當外れの議論で、治安維持法の冒讀であらう。治安維持法は神聖なる法律だからである。

四

今次の共産黨の被告は右翼である日本勞働總同盟の中からも澤山の犧牲者を出した。日本勞働總同盟の今年度大會において、東京鐵工の佐藤君が「日本共産黨事件にて朝日新聞に發表された遷友同志會員の名がある。事實なりとせば、如何なる處置をとつたか」と質問したに對して、本部の松岡君の答へは「遺憾乍ら事實である。發表されて解つたので、直ちに除名した」云々であつた。右翼であれ、左翼であれ、同じ階級運動の犧牲者を犧牲者なるの故をもつて除名したところ、流石松岡君ならではと思はせる。しかし、盟を贈つた謙信の偉大さは無い。

中間派では、その日和見主義的と稱せられる本質からして、此の松岡君の勇敢を眞似すべくもないだらうが、恐らく結果において同一の點に到達するであらう。

五

すでに日本共産黨事件は一大センセーションを捲き起して大衆の面前に表れた。でかでかと新聞全面に書きつくされた「昭和大捕物帖」なる「大陰謀事件」の内容は發表された。何人も、此の發表を見て「もう彈壓しても生れるものは生れる」と見てゐる。然るに、日本のブルジョア政府はあくまで彈壓を以つて事を納めようと言明してゐる。彈壓のあるところ陰謀がある。

在るものを、無いと云ひ、出るものを出させないとするさしづめ、日本のブルジョア政府は海底の盲魚とえらぶ所がない。

日本共産黨成立より檢擧まで

——（内務省發表）——

△大正十年成立、大正十三年解體

△大正十四年五月佐野學、德田球一、佐野文夫等上海に於て再組織の協議を開く

△同年七月、八月佐野學歸京後渡邊政之輔、德田球一等の解黨反對者により組織の運動方針を定む

△同年九月二十四日共産黨組織宣傳の爲めに佐野學主筆の「無産者新聞創刊さる」

△大正十五年六月下旬德田球一モスクワより歸京日本共産黨の運動方針たる「モスクワテーゼ」を齎ふ

△大正十四年十一月コミンテルンの指令に從ひ、黨組織準備特別委員會設置

△大正十五年十二月三日福島縣下に於て黨創立大會に關する準備中央委員會を開く

△同年十二月四日山形縣下に於て佐野文夫議長となつて黨創立大會を開く

△昭和二年一月中央委員會を開き、黨の成立經過報告、運動方針の協議等に關し、コミンテルンに德田球一、福本和夫、渡邊政之輔を代表として派遣することを決定

△同年六月モスクワに於て、日本問題に關するコミンテルンの特別委員會を開催、日本共産黨の運動方針のテーゼを決議す。日本共産黨の出席者渡邊政之輔鍋山貞親、德田球一、中尾勝男河合悅三、福本和夫、佐野文夫（通譯として高橋貞樹）而して此の會議に於て、指名せられた中央委員並に候補者は渡邊政之輔、佐野學、荒畑勝三、市川正一、鍋山貞親

△同年十一月日光山中に於て、入露歸京者のコミンテルンに於ける決議の報告の會合を開く

△昭和三年二月の衆議院議員選擧に際し黨員たる德田球一外十名勞働農民黨から立候補せり

△同年三月十五日拂曉を期し、全國一齊に治安維持法違反で檢擧され、六月迄に起訴せられたるもの四五〇名に及ぶ

△同年四月八日　三・一五事件以後黨の再組織の爲めに活動中の中央事務局の中尾勝男、淺野晃門屋博、等檢擧せられ、中央移動事務局壊滅に歸す

△同年八月七日四月以降再組織に從事したる中央事務局の岩田義道關東地方委員長河合悅三相踵で檢擧せられ、渡邊政之輔、鍋山貞親等は上海方面へ逃走せり

△同年十月二日右兩名より後事一切を托されし三田村四郎は檢[illegible]

△同年十月六日[illegible]

[illegible]たりし渡邊政之輔臺灣にて警察署に拉致さるゝ途中警吏を射殺した後自殺せり

△同年十一月コミンテルン第六回大會に出席したる市川正一歸京し、檢擧によつて殆んど壊滅に歸したるも黨の再興を計る

△同年十二月に至り黨的機部、政治部を確立し、黨再建運動進む

△昭和四年三月十八日東京地方オルガナイザー菊地克己逮捕さる

△同年三月二十一日中央事務局政治部長砂間一良逮捕さる

△同年三月二十八日中央事務局組織部長間庭末吉逮捕さる

△昭和四年四月十六日以上の[illegible]檢擧[illegible]黨の組織が判明し當日[illegible]第二回全國的檢擧[illegible]起訴されるもの二九六名に及ぶ

△同年四月廿七日より同廿九日に及んで黨首腦部市川正一、三田村四郎、鍋山貞親等逮捕さる

△同年六月十六日上海に逃走[illegible]

[illegible]

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

吾等の前衛思出話

吉田源藏

序

共産黨員に關する事柄は可成りに各方面から、種々の見地よりして、それは全くくどくどしいほどに論ぜられもし書きたくられもしている。けれどもそれ等は、何れも、單なる安つぽい興味中心主義や中傷を目的としたり野次半分皮肉たつぷりなものばかりで逆宣傳以外何の役にも立たないものばかりである。

そして、しかも、それ等の論客？達は、何れも相當に社會的地位のある連中で、中には無産階級の陣營にさへ屬すると稱せられてゐる御方もないではないが、共産黨の事を兎や角と云ふ場合は、極つて惡口や皮肉を言ふことになつてゐる。勿論支配階級にしろ、それの代辯者に過ぎないブルジョア新聞雜誌、同じそれの手先きなる社會民主主義者は、たとへ無産陣營に交渉を持ち、內至は屬してゐやうとも、共産黨員に關する限りその報導するところは逆宣傳以外に役割を持つものでは斷じてない。

しかしながら、共産黨に對する報導は、よしそれ個人的に關するものにもせよ、現在の狀勢の下に於ては、それが眞實なるものである限り、合法的存在たる我が進めの如き雜誌にあつては、甚だしく制約されざるを得ない事情の下にある。だが吾々が若しそれ共産黨員の事どもを取り扱はんとする場合は、それが單なる思ひ出話にせよ、——吾々の運動と結び付けてなされなければならないことを忘れてはならぬ。

從つて、私が此處にものしやうとする共産黨員の個人の思ひ出話しは決して安價な興味を湧かせたり、鼻の先を上向けにするやうな皮肉物や、臍が移轉するやうな「はなし」ではない。若しも進めの讀者にして、共産黨員の事どもを興味や中傷を目的として知らうとするやうな不屆者があるなら、進め等を讀むことを斷然止めて、日本大衆黨の本部か警視廳の特高課へでも行つて聞くがよからう。

だが私のような一介の兵卒の思ひ出は、兵卒相應のもので、その範圍も從つてそれ相當のものである。

谷口善太郎氏

谷口善太郎氏を私が知つたのは、京都の奥村電機會社の第三次勞働爭議の直前であつた。勿論同氏はそれ以前から京都の評議會の首領ではあつたのだが、當時私——當時ばかりではなく私は何時でも何處でも同じだが——は京都評議會所屬電機工組合吉祥院第七支部員で、京都の本部の偉い人達の名前なんか覺へてゐるやうなものではなかつた。此の爭議の直前に私の所屬してゐる支部で研究會をやつたとき、氏は講師として來てくれたのであつた。そのときの同氏の講演の主題は確か「勞働者敎育の理論と實踐」であつたと記憶してゐる。私にとつて谷口善太郎氏を頭の中に明瞭に記憶したのは此の研究會を機會にしてゞあつた。同氏が京都評議會の主事をしていられたのも此の時始めて知つたのであつた。そして當時の私は、京都の評議會では主事の谷口氏が一番偉い人であると思つてゐたのであつた。その當時京都の評議會の會長奥村甚之助氏のあることをすら私は知らなかつたのである。

此の研究會では今でも忘れられない非常に嬉しく思つた思ひ出がある。それは此の研究會の少し前に、同じ電機工組合の吉祥院の第一、第二、第三の各支部で總會を行つたとき余興に手踊を行つて、結極組合の總會が園遊會化して仕舞つたことがあつた。

ところが、これ等の支部は所謂熟練工の支部であつて、支部の經濟的基礎もしつかりしてゐて、私の所屬第七支部は不熟練工ばかりの支部で、經濟的基礎もなく常に本部からも、各種の義務を怠るので叱られてばかりゐたし、これ等の支部からも蔑まれてゐたのであつた。しかるに、私達の支部の研究會の講師として來てくれた同氏は、開口一番、「吉祥院の支部の事だから又例の手踊でもやつて底拔騷ぎでも演るのかと思つて內心審しぎながら來たのだが、支部としては新しく、且つ意識程度の低い不熟練工ばかりの諸君の支部が、かように熱心に研究會を行られるとは非常に私は嬉しく思ふ」と挨拶をせられたので、何時も本部から叱言ばかり言はれたり、そのことで各支部から馬鹿にされてゐた私達の支部員は、此の谷口主事の言葉を聞いて、非常に勇み立つたものであつた。

それから、同氏に對しては、これは嬉しい思ひ出だが、今一つ悲しい思ひ出がある。それは第三次奥村電機の爭議の終つたとき、當時電機工組合——後に金屬勞働組合となつた——吉祥院機械部の支部—

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

―（私は第何支部か忘れたからこう書く）――何とか云ふ、それは幹事長をしてゐる同志が爭議で疲勞の結果死んだので、吾々の手によつて葬儀を執行したことがあつた。そのとき奥村の社宅から東山の火葬場へ送る途中、奥村電機會社の工場の表門入口で告別式を行つた際、同氏は京都評議會主事として一場の弔辭を述べて「××君――（私は残念ながら死んだ同氏の名前を忘れたのでかう書くより外ない――吉田）――は、醫者の診斷によれば病氣で死んだことになつてゐるが、此の病氣は此の――奥村電機の工場を指し示し――悪資本家奥村電機會社の爲めの病氣であるから、××君は奥村電機會社が殺したのである。」と結んだときは、數百人の回送者である勞働者は一齊に聲を擧げて泣いたのであつた。そのとき今をときめく京都府議の奥村甚之助氏等も泣いてゐるか、怒つているか、笑つてゐるか分らぬ顔ではあるが、まさしく聲を擧げて泣いてゐたようであつた

私が谷口善太郎氏との最後のお別れは、昭和二年十一月七日のロシア革命紀念日に、江洲彦根へ講師として來て貰つたときであつた。その後京都評議會本部で同氏の夫人には會つたことがあつたが同氏には遂にそれから會ふ機會がなかつた。その最後に江洲で會つたときこんな話しをしたことがあつた。私はその革命紀念日の翌日谷口氏を彦根にある伊井直弼の舊城に案內したのであつたが、そのとき私は谷口氏に「この間朝鮮の同志が私ところに來たとき、朝鮮の貴族の話しをしてゐましたが、朝鮮では今でも貴族はこの様な濠や塀や堤を繞ぐらせた城見たやうなところに住んでゐるそうですよ」と話したら「そら君そうだらうよ、朝鮮どころか日本にだつて現にそうして住んでゐるではないか」と言はれたので、二人で顏見合せて笑つたものであつた。

谷口氏は、この私達の催した革命紀念日の集合には、京都で尾行をまいて、山科迄歩いて、角帶なんか締めて、すつかり商人風に化けて忍んで來て下さつたのであつた。私が彦根驛に見送つて行つたとき「僕も此處には長いことゐるまいよ」と言はれたのも、私は單に同氏が病氣であつたので健康上からのこととばかり考へてゐて、「なあに大丈夫ですよ今の歳で何を弱いことを言つてゐるのです」と返事してゐたこと等思ふと、私は全く當時から同氏が覺悟を極めて吾々の前衛として働いてゐてくれられたことを氣付かなかつた愚かさが私は恥かしくてならぬ。

國領伍一郎氏

國領氏は兄弟して共産黨被告として吾々の×の手に拉致されてゐる。大阪に於て擧げられた國領巳一郎氏は同氏の實弟である。私は巳一郎氏に就いては少しも知るところがないが伍一郎氏に就ては多少は知つてゐることがある。私が國領伍一郎氏を知つたのはやはり京都奥電の第三次勞働爭議や、同じ京都の日新電機の爭議當時であつたと思ふが――イヤそれよりずつと以前であつた。彼の若槻內閣のとき彼等の手によつて解散の憂き目を見た農民勞働黨の結黨の當時であつた。同氏が同黨の解散顚末を報告す可く、京都岡崎公會堂に於ける報告演說會の演壇に現れたとき始めて私は同氏を知つたのであつた。同氏は私達の加つた彼の奥村電機の第三爭議が解決して、入場式が行はれんとしたとき、調停者の國粹會の反動を前にして「諸君は吾々の眞實の味方は勞働者自身であつて、勞働組合であることを眞に此の爭議を通じて學ばれたであらう」と言はれたことを私は常に思ひ出すのである。

此の爭議のとき、吾々勞働者の代表として交渉の任に當つたものゝ內に、現に今京都府議をやつてゐる奥村甚之助氏等は、此の爭議の費用全額會社負擔なる吾々の要求を、國粹會から金一封として百圓出すと云ふ條件に負けて來て國領氏から尻から出た虫のように叱られたものであつた。

嘗つて京都評議會が總同盟時代に、奥村爭議で慘敗後、組織を破壞された受難時代があつた。その當時京都の聯合會は、聯合會としての定數すらたく、只聯合會の存在を死守することすら困難な時代にあつて、國領氏、谷口氏、それから辻井民之助氏奥村甚之助氏等のみで、總同盟所定の聯合會の最低限度の頭數だけの本部費その他の義務を果して、聯合會の看板を死守し、今日の京都の勞働運動の基礎を築かれたのであつた。

國領氏は組合同盟の藤岡文六氏の夫人の令弟に當るのだが、今年度第三回組合同盟全國大會等に於ては、二人迄も弟を支配階級に拉致されながら、しかも已れ自身も勞働者運動に身を投じてゐながら、無產階級の正面の敵手たる支配階級の番×でありそして已の弟を二人迄も引つ浚つて行つた憎む可き××と同じように「共產黨と闘ふものである」と大見得を切つた藤岡氏を目の當り見せつけられた私は、何だか、小供の時分によく母から聞かされた「畜生道」の話しを思ひ出したのであつた

國領氏に就ては今一つの思ひ出を私は持つてゐる。それは農民勞働黨が解散されて、勞働農民黨が結成せらる迄に京都には「單一無產政黨期成同盟會」と云ふものがあつた。で、私の所屬してゐた京都電機工組合吉祥院支部聯合會でも、これへ委員を選出しなければならないので、その委員を第六支部と私達の第七支部と共同で選出する會合を開い

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

たことがあつた。ところが、お恥しい話だが當時サンジカリストの悪影響を多分に受けてゐた第六支部の新谷一君と第七支部の私とは「政治運動なんか運動を喰物にする山師のすることだ」と言つて大いに反對を唱へたものであつた
　ところが恰度そのとき（或はその後の會合であつたかもしれぬが）だつたか、國領氏が居合せてゐて、政治運動の必要なこと、政黨を作らねばならぬことを懇切に說いて聞かせてくれたので、私共は成る程と感心したものであつたそれから私も政治鬪爭とか、全無產階級的とか云ふ言葉を使ふようになつたのであつた。

佐野學氏

　佐野學氏を私が知つたのは大分久しい以前で、今では同氏の風貌さへ忍ぶことが出來ない程であるから、恐らく同氏としては私等は記憶にないだらうと思ふが、私にとつては同氏は非常に深い思ひ出を持つた人である。私が福島縣下の湯本入山第五坑と云ふ炭坑に坑夫として稼いでゐる時分のことであるが、此の炭坑で爭議が起つた――イヤ起つたのではなく私達が主謀者で起したのであつた。日時の關係は確かなことは覺へてゐないが、大正七年か八年だつた――年鑑を見れば分るが何もそれにも及ぶまいから――と思ふ。兎に角私は大正七年一月の元旦に湯本入山第四坑で出生――坑夫が親分から乾分の盃を貰ふこと、即ち友子と稱する交際坑夫の仲間入をすることを出生と云ふのだ――したその年か或はその翌年の事だから、全國坑夫組合と云ふ佐野學氏が組合長をしてゐた組合のことを知つてゐるものなら、ア、あの爭議かと直ぐに思ひ出す筈である。
　それは兎に角、此の爭議には私の働いていた入山第五坑の坑夫五百人、それに同じ入山の第四坑――これは私の出生した親山である、坑夫は出生した山を親山と云ふのだ――の三百人も加はつて一週間完全にストライキを行つたのであつた。そのとき勞働組合員と云ふものは、第四坑に働いてゐる坑夫で、飛田松二郎と云ふ聖劍をよく使ふ人が友愛會の會員であつたのと、私が全國坑夫組合員だつたのと都合二人だけであつた。で、此の當時の飛田君にしろ私にせよ、爭議を起す場合に本部へ報告する譯でもなし、只本部から會費を引つ換へに送つて來た會員證を大切に腹掛のドンブリに仕舞つておいて兄弟分なんかにみせたりするだけで、會員を殖やしたのは此の爭議が片付いてからであつた。何でも此の爭議は平の警察署の今は忘れて仕舞つたが何とか云ふ警部補の調停で解決したのであつたが、その解決條件に「犧牲者を出さぬ事」と云ふのがあつて、それも容れられたのであつた。ところが、何處の資本家でもやる手だが、爭議後半月程たつたら爭議關係でなく會社の都合上と云ふので、此の爭議で活躍した目ぼしい者を六人馘つたそこで運良く馘首を免れた私は早速平の警察へ行つて調停した警部補に談じ込む可押しかけたら、その警部補は既に何處へやら轉勤してゐたので署長に會つて話したが要領を得ないので仕方がなくて山へ歸つて飛田君に相談したら、友愛會には俺は長いこと會費を納めてゐないから一つ君の方の組合へ相談しようと云ふで始めて組合と云ふことに氣がついて、當時の佐野氏の事務所で組合本部であつた麻布の何とか町十九番地――番地だけは今でも覺てゐる――に尋ねて來たのであつた。
　そのとき事務所にゐたのは今でも確に覺へてゐるが、堺氏等の共產黨事件のとき妙な風評のあつた阪口義次で、彼は私に「全國坑夫組合庶務部長」の肩書付の名刺をくれたりなんかしたものだ、私は今一人の同志と此處に一晩泊つてその翌日佐野學氏に會つたのであつたが、私が佐野氏に會つたのは此の時が始めてゞありそして最後である。だがこのときは非常に氏は勞働者を貴いものであつても、そして強いものだと云ふことを私達に言つて聞かせたのだ、私は此のときには非常に感激したものであつた。何しろ大學の先生をするような偉い人から炭堀りをしてゐる坑夫に手をとつて種々な話しをしてくれたり、褒めたり、同情したり、勵ませたり、慰めたりして貰つたのだからとても光榮に思つたのであつた。それから私達は兎角團結しなくては駄目だと云ふので山へ歸つてから二十人程會員を作つたが、その爲めに大川何とかと云ふ人が山へ來てくれた事があつたが、支部の發會式をやる迄に私は馘られ下山を強要せられて仕舞つたのであつた
　私が此の入山炭坑を下山する迄に支部確立の爲めに奔走中佐野學氏の署名した手紙を二通程貰つたが、その手紙を大切にして、まるで家寶のやうな取り扱をしたものであつた。此の佐野氏の手紙の取り扱ひ方で、私は夫婦喧嘩をしたこともあつた。
　佐野學氏は恐らく私のこと等は記憶せられてゐないと思ふが私にとつては、以上のようなとても忘れることの出來ない思ひ出の人である。

×

　共產黨被告で、私の思ひ出の人は澤山あるが、とても限られた紙數では書きつくせない。例へば、岩田義造、大橋積、山崎雄次、泉隆、德田球一等の各諸氏に就ては多くの思ひ出を私は持つてゐる。大橋積氏岩田義造氏は、私の嘗つて所屬してゐた日勞黨の昭和二年の全國大會には、私が斡旋して傍聽の便宜を計つて上げたことがあつたが、このとき語り合つたのが最後のお別れであつた。私は出來ることなら、今後も、吾々の前衛の思ひ出を書き續け度ひと思つてゐる。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

福本和夫氏に對する一つのエピソート

山陰の一農民

僕がこんな物を書いたからと云つて決して福本和夫氏を偶像化するためだとか特に超人間的にでつち上げる爲ではない。

我々勞働者農民は福本和夫氏の獄中××論に對しては一種の憤激さへも感じてゐるのだ。

思ふから福本氏の名を借りて來てそれにまつはる一つのエピソートを書くことゝした。

今度の記事解禁の新聞記事のあらゆる一切が吾が前衛に

その中でも特に甚だしいのは婦人の同志に對する中傷である。彼等を呼ぶに何某の情婦何々とし、而かもその運動の全部を男性との性的關係に關連せしめて、此等同志の生活と人格を低級化しグロテスク化さしめて大衆から精神的に分離せしめんと努めた支配階級の心事こそ輕蔑すべき陋劣極まるものではないか。

中でも福本和夫氏をめぐる五人の女とか十二人の女とか氏を妖僧ラスプーチンの名と關連せしめた記事等すべて此れらの記事が如何に「コウトウ無ケイ」な物であるかは等しく勞働者農民の認むる所である。

此等の支配階級の中傷と新聞記者的惡煽動にもかゝわらず、如何に福本氏が××家としての冷徹な謹嚴な性格の持主であつたかを證明する一事がある。その話はすでに古るく、氏が一流の論陣を張つて日本の全運動を風靡した以前にさか上る。それは氏が留學を終て獨逸から歸朝した時の事である。福本氏が下關に上陸して、そこに永い間別れて暮して居た先夫人の姿を見てやさしい言葉をかける前に離別を宣告した、このあまりに以外の言葉に夫人は驚きよりもあつけに取られたと云ふ。初めは何か冗談でも云つてゐると思つたが以外に眞面目な氏の態度に夫人は容易ならぬあるものを感じたから、泣きながら其理由を聞きただし、無謀を說いたが、氏は只一言冷たく、今お前に理由を語つても到底理解はなし得ないであらう。俺は少し考へる事があつてその事は語る事が出來ない。いつかお前にも解る時が來ると思ふから、だまつてこのまゝ別れて吳れ。と、云ひはなつて、沈痛な顏をふせたまゝなんと云つてもそれ以外には一言も口を開かなかつたと云ふ。夫人もやむなく別々の心をいだいて車中の人となつた。汽車は同車であつたが夫人は途中から島根縣の實家に歸り、氏はその儘鳥取縣の實家に歸つた。

夫人は實家に歸つて此事を泣いて父に語つた處が、夫人の父と云ふのが亦、士族だとかで簸川郡あたりの郡長等を務めた事があり、頗るがんこと來てゐるものだから、非常に恐つてお前に何か落度でもあればとも角、何等理由も聞かずに離縁されて歸つて來るとは何事だ、一度人に嫁いた以上は、お前は家の者ではないからどんな事があつても福本の所へ行け、理由も聞かずに離縁されて歸つて來る様な奴は家に置く事はならんと云つて、誰が何と云つても聞かないもんだから、夫人はやむなく又鳥取の福本氏の家に尋ねて行つた。だが一度決心した氏の態度は以外に確く、十日餘り夫人と一所に居たが口は一言も聞かず、默々として居て、家の人達も他々しく見へて夫人は居た堪らず實家に逃げ歸つたと云ふ事である。

そのころから福本氏の決心は階級運動の前衛を自覺して確く結ばれてゐた様だ。

此の一事を見ても如何に氏が××家としての冷徹な意思と決斷力の持ち主であるかが解るであらう。皮肉にも女や金にダラシないのは返つてブルジョアーや、官憲や、新聞記者や、ブルジョアの代言人たる政治家等である事が、頻發する疑獄事件が證明して餘りあるではないか。

×　×　×　×

寒村の自殺

荒畑勝三君が自殺せんとしたが不幸にも助かつた、反感ある共産黨と同じく入獄する事を厭ふてゐた爲めだ。かつて第一次共產黨事件の時、法廷において「いやしくも共產主義三人集れば、そこに共產黨は結社されるのだ云々」と大見得を切りし荒畑君も監獄恐さに自殺とは何事ぞ。末路あはれむべし。しかして愛する五十三才のお玉さんへの遺言狀はありしも勞働者農民への遺言狀はどうしたのか。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一九二九年の日本無產運動

下村靜夫

序

一九二九年は、田中内閣と濱口内閣の二政府による極度なる××の嵐によつて終始した。階級對立の社會においては、階級鬪爭が平坦なる軌道を進むものでない事はわかり切つた問題であるけれども、階級對立の尖銳化は、其の階級社會組織の進展が新しき社會組織への道へ進むほど、いよ〳〵拍車を加へて行くものである限り現在の資本主義が次第に沒落の過程を進行する時機が切迫した一九二九年の階級鬪爭が苦難にみちた荊逆の道を辿つたといふ事も自明である。田中内閣の沒落後、新たに政權を握つた濱口民政黨内閣が、その自由主義的政策の吹聽にもかゝはらず、田中内閣以上の彈壓政治をものしたといふ事も這般の狀勢を說明して餘りあるものであらう。日本の無產階級は、一九二九年より一九三〇年とより激しい戰ひを背負はねばならぬだらう。しかし、此の戰ひの中に輝ける未來を約束された無產階級の力が彼等の××をはね飛ばし奪はれたるものを、奪ひ返して行くであらう。

この一九二九年の日本社會運動の大觀は、一九二九年における日本無產階級の鬪爭のしめくゝりであつて、概略的にその動きと方向の跡を記述するに止まる。今月は、筆者に手近かな中間派的陣營の展望から初める事とした。動搖に初まり動搖に終始した中間派陣營の個々具體的事實を擧示して、最後に總括的說明を加へ、その動搖の本質とその方向に論及する事にしたい。

一、中間派陣營の展望

日本大衆黨の崩壞

一九二九年の劈頭の無產陣營を特長づけたものは、日本大衆黨結成による中間派的社會民主主義的戰線統一へのファン的陶醉であつた。

日本大衆黨に對する大衆のファン的陶醉は束の間の夢であつた。日本大衆黨幹部の田中義一との醜事件は、早くも進め社系の日本大衆黨員によつてその事實を握られ、一月二十一日の全國勞農青年同盟の創立大會において日本大衆黨の統制委員會に警告を發すべしとする動議が進め社系の同盟員から提出された。しかし、その大會においては滿場の贊成を得る事は出來なかつた。

全國勞農青年同盟の青年達は、中間派的戰線統一の夢に醉ひしれてゐた。彼等の純情は幹部の醜惡を信ずる事は出來なかつた。

越へて、一月二十三日、福田狂二氏の名によるリーフレット「清黨」は全國に撒布され、日本大衆黨の動搖の基礎となり、階級性擁護の鬪爭は捲きおこされた。就中、日本大衆黨内の小數派たる勞農派の果敢なる進出が初まつた。彼等は「清黨」を利用し、日本大衆黨の指導權を掌握せんとしたのだ。

「進め」社系日本大衆黨員の全國的曝露鬪爭に對して、麻生、平野等の醜惡幹部は周章狼狽し、ひたすら家の子郎黨を集め事實の隱蔽を策したが醜惡なる事實は事毎に包み切れず、大衆の面前に公表された。日本大衆黨の幹部の醜惡事實ようやく明かになるや、先に幹部の清廉を信じてゐた全國勞農青年同盟の同盟員は階級性擁護の先頭に立つた。一月末より二月中旬までの大衆黨の委員會、統制委員會に對して、階級性擁護のデモが行はれた。階級的熱情に燃ゆる青年達は、事實が明瞭になるや、憤激は極度に達したのである、醜惡なる動機が、日本大衆黨結成の動機である事が曝露され、同時に日本大衆黨に對する盲目的ファン的陶醉が醒め、冷靜なる階級的批判が擡頭し初めた。

[illegible]

日本大衆黨階級性擁護の鬪爭より、日本大衆黨の本質、及びその存在の階級性に對する批判にまで高まり、全國勞農青年同盟と組合同盟反對派の飛躍的躍進を招來したのである。

大衆黨内の勞農派は清黨運動を利用しての指導權獲得の鬪爭を行つたが、彼等の鬪爭の限界は單なる階級性擁護、反幹部運動に過ぎなかつたため、强力なる無慈悲なる戰ひは行はれなかつた。彼等は常に日和見主義であつた。何故なれば、勞農派は小數のルンペン的集團であり、工場と農村に基礎をもたなかつたからである。大衆黨と離れまいとする努力――共處からダラ幹の頭目たる平野力三の攻擊をやつたが、他の頭目麻生の攻

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

撃はやり得なかつた。除名されゝば、勢力がなくなるといふ事を知つてゐた彼等は、かゝる姑息なる行動をとつたが反つて平野麻生等の猛襲につて除名された。除名されてより彼等は分裂反對同盟を結成したが、全く取るに足らぬ存在であつた。加之、彼等の小數グループは内紛をおこし、十一月二十日分裂反對同盟を解體し、大衆黨に頭を下げて入り込む様な醜態を演じた。だから、淸黨運動と勞農派の反幹部運動は根本的に相違してゐた。勞農派が社會民主主義黨日本大衆黨カヂリつきに反し、淸黨運動は日本大衆黨ブッツブシの鬪爭にまで飛躍したからである。淸黨運動と勞農派との分裂は、又、全國勞農青年同盟内の兩派の對立となつて表れ、戰鬪的工場勞働者によつて、勞農派はこゝにおいても徹底に打碎かれた即ち、勞農派は大衆黨のダラ幹と、組合同盟の反對派、及び勞青の戰鬪的多數派によつて排撃されて全く手も足も出なかつた。勞農派の孤立は、日本大衆黨幹部に對する大衆的淸黨運動の副產物である。

かくて内紛の日本大衆黨は平野と麻生との對立を生じ、創立半年を出でずして分裂した。日本大衆黨及び一切の社會民主主義、就中左翼社會民主主義の本質を曝露し日本大衆黨内の工場勞働者、農民の進出を促した事は、淸黨運動の階級的功積であらう。

全國勞農青年同盟

一月二十一日創立大會をもつた全國勞農青年同盟は、本年度に於ける青年運動の上に重大なる意義を持つと同時に政治運動の舞臺においても又大なる存在であつた。何故なら、勞青は創立と同時に日本大衆黨の内紛の渦中にあり、遂に日本大衆黨に尻をまくつて鬪爭し、日本大衆黨のダラ幹の目の上のこぶとなり、がんになつたからである。

創立大會においては、日本大衆黨は策士田所輝明君を送つて祝辭を述べ、青年同盟懷柔の企圖に出でたのであつたが、その後、妥協なき反大衆黨に轉化するや、田所、河野君はひたすらもみつぶしに狂奔した、しかし、勞青の發展は、動搖なく進んで來たものではない。幾多の分子をふるひ落した。その度毎に勞青内部に激烈な對立と鬪爭が行はれたのである。

對立の第一歩は淸黨運動に初まる、淸黨運動漸く大衆黨の問題になるや、勞青内の進め社系、及び勞農派、組合同盟反對派は、大衆黨本部に事實の徹底的究明をなして黨の動搖を防止せよと意見書を提出すべしと主張したに對し、舊農民黨系の幹部は淸黨運動の如き事實なしと應酬し、舊日勞系、勞青書記長岩崎正三郎君等は此の問題は青年同盟とは關係なしとなし傍觀すべしとして意見のギャップを生じた。

其後舊農民黨系は音もなく何時落ちたか分らぬ程同盟を脫し、別に反動的青年同盟組織の旗をひるがへした。ために勞青は直ちに同系幹部を放逐した。次の對立は勞農派との對立である。

全國勞農青年同盟東京府支部が四月二十三日の東京府支部創立大會において「全國勞農青年同盟解消方針」を決定せんとするや「勞農青年同盟萬歲」を守る勞農派との鬪爭が展開された、當日の創立大會は解散を命ぜられ、反勞農派によつて東京府第一支部が創立された。そして、東京府第一支部承認か否かの問題によつて勞青の分裂となり、全國勞農青年同盟が二つ存在するが如き狀態となつた。

全國勞農青年同盟の解消方針は進め七、八、及び今月號において詳細に論じられてゐる如く、組合青年部の確立によつて行はれ、その具體的實現もすでに終つてゐる。全國勞農青年同盟の本年度の青年運動及び政治鬪爭の領域における意義の重大であつた事は論ずるまでもあるまい。一月二十一日より九月末日に至る短月日の間に急速なるテンポをもつて社會民主主義と抗爭し、左翼陣營に强力なるエネルギイを再組織した。

（未完）

断頭台

堺利彦君を當選せしめよ

■堺利彦先生は來月還歴だ。安部老は六十四で初めて代議士になつたから、堺先生が六十一で當選したからとて遲くはあるまい。近頃その選擧地盤のあらゆる演說會に顏み込んで一席の長廣舌をふるつてゐられるが、お年は爭はれぬもので時に聲がかすれる「總理大臣は朗讀演說をするものだが私もこゝに朗讀演說をします」てな事を云つて自分のを自分で朗讀される。傍で見てゐると、いたいたしいとの事、代議士にならんがため、分裂反對同盟を解體して、大醜黨に頓首九拜して復黨させてもらつたからには恥も外聞も御座いますまい。たゞ代議士になればよいのだ。しかし、分反の青年連、芝あたりでは堺氏落選同盟を結成したとの事である。老先短い堺クンをそういぢめるものではない。

近藤榮藏君の近狀

■十年前大杉榮の代理で上海から金九千圓を受取つて來た近藤榮藏君、門司で藝妓半ゝ十數名つれて茨城閑日月ありと極め込んだゝめ物議をかもし、ダラ幹の元祖とまで云はれたが、その後勞農派からもオミツトされ、今は有樂町に國際文業社長をしておられ、又日本大醜黨東京府聯遊說部長の榮職についておられる。國際的に飛び廻つた共產主義者伊井敬の末路といふなかれ、日本の階級的大醜黨東京府聯の大幹部様ぢやぞ。

分反解體

■日本大衆黨と喧嘩した分裂反對同盟はこの間解體して大衆黨に入黨する事になつた。人あり本社に左の如き歌を寄す。曰く

「火山にお株盜られて勞農派、
大醜黨に頓首九拜」

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

全國勞農青年同盟の解體とその闘爭の成果

村田釀二

進め誌上に於てもしばしば問題として取扱はれて居た全國勞農青年同盟が去る九月二十五日解體の聲明をなした。

勞青解消の理論的展開はすでに進め誌上に於てもなしつくされてゐると思ふ。(本誌に一切再錄した各方針書と共に七月號の同志花村の論文を參照せよ)

然らば勞青は實踐的に解消への過程を如何に闘爭したか私はそれを本誌上を借りて再生產することゝする。

一切の××運動は闘爭なしには考へられない、勞農青年同盟質的轉換への解消も闘爭なしには今日の成果は考へ得られなかつたであらう。闘爭するものこそ最後の勝利者であり闘爭こそは××的大衆の組織者である。

マルクス主義は、實踐的闘爭の中から生れ、實踐的闘爭を指導する。我等の偉大なる指導者レーニンは云つてゐる××的理論なしに一切の××運動は有り得ないと。而して理論は實踐に正しく適用されてこそ初めて××的意義を持つ。この理論と實踐を辯證法的統一に於て把握する者こそ眞のマルクス、レーニン主義者である。

然るに左翼社會民主々義者は左翼的言辭をろうしつゝ實踐的闘爭の場合に於ては、日和見的であり大衆の戰闘的擡頭を壓迫せんとする。左翼社會民主々義の特質は大衆に基礎を有しない實踐的闘爭から遊離した机上の空論家たる所にある。山川、猪俣、大山、河上等を見よ。

而しながら彼等はマルクスレーニンの名に於て×××する大衆が×××へ×××されんとする間際に於て喰止め、××の獨自性とその大衆化を大衆の面前より隱蔽せんと狂奔し、勞農大衆の國際的統一への發展を防害して帝國主義ブルジョアジィの忠實なる番犬となり、右翼社會民主々義者と共に帝國主義戰爭の準備を助ける。この意味に於て彼等は勞働者農民の最惡の敵である。彼等を粉碎することなくしては勞働者農民の勝利は永遠のかなたに押流されるであらう。

而して今や日本帝國主義に於ける資本主義機構の內外諸情勢の矛盾の對立は產業合理化の形を取つて表れ、勞働者の生活は益々低下し勞働時間の延長、賃銀値下、失業者軍の膨大なる再生產となり必然的に此の結果は可急的コースを取つて勞働者大衆の×××左翼化を齎らす。組合同盟內に於ける反對派の擡頭と、總同盟大衆の急激なる左翼化、指導なきストライキの頻發はこの事實を證明して餘りあるではないか…

前より×ひ去つた。」色×××にさらされつゝ闘爭する者は、從來の元始的素朴なる組織形態よりの脫却と××××的××組織の必要を痛切に感ずるであらう。

今日の日本の客觀的情勢は中間派的理論の實踐的說明をゆるさない。廣汎なる大衆を基礎とする組織を持つ者は社民へ迄後退してブルジョアジイとの露骨なる提携を宣言するか×××××的××組織への進出以外に途はないであらう、日本大衆黨の農民小市民を基礎とした、選擧黨としての社民への接近と組合同盟幹部の急激なる反動化、勞農一派の孤立化、大山一派の新勞農黨の反動的農民黨としての結成は×××××の强化擴大に併行して少數机上文士の一團に迄追つめられる運命を背おつてゐる。かゝる客觀的情勢の下に日本大衆黨の結成を期としてその內部に於ける左翼的青年に依つて生れた、勞農青年同盟の前途こそ相當注意を以つて見られるものであつた。而しながら創立當初は舊無產青年同盟の最惡部分を代表し而かも山川、猪俣の多分の影響を受け

その多分の影響を受けた勞農青年同盟の戰闘的分子が社會民主々義的形態の克服に闘爭し始めたのは當然であらねばならない。

かくして左翼との諸共同闘爭は我が同盟員大衆の實質的左翼化の基礎となり、山川、猪俣等の理論的影響を克服して四月二十一日の東京府支部創立大會には反勞農派的態度と反日本大衆黨の立場を明確に宣言した。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

かゝる傾向を早くも觀破した日本大衆黨の田所、河野等の社會民主々義者共は、赤子の内のこの鬼子を絞殺せんとしたが事すでにおそくその潜勢的勢力に恐れて傍觀する外なかつた。彼等は東京の本據確しと見て地方支部に對する壓迫の手をのばし河野の如きは神戸に於ける勞青支部準備會に對して强請的態度を以て解散をせまつたとさへ云はれてゐる。

此の頃からして、我が陣營の基礎愈々確く勞青の内部に巣喰ふ勞農一派に對する闘爭も尖銳化し、東京府支部創立大會に先立つ四月十日の三國個の×の記念日には支部創立第三回準備會を兼ねた座談會が××法的に官憲の追究をまゐて組織され、その席上では各出席者に依り痛烈なる勞農派の裏切者に對する排撃の叫びがなされ、その場で東京府支部創立準備委員が決定されたのである。(此の×の記念日には彼等勞農派並に日本大衆黨のダラ幹共は醜漢堺利彦の市議當選祝賀會を開いてブルジョアと共に祝杯を擧げた。)

かくして一切の大會準備は反勞農派の戰闘的分子の手に依つてなされ、四月二十一日の帝大キリスト教青年會館に於ける大會には勞農派排撃と戰闘的左翼議案が上提された。その重なる物に曰く、「統一戰線同盟排撃の件」「戰爭反對同盟支持、全國非戰同盟排撃の件」「解放運動犧牲者救援會無産者病院計劃支持の件」「組合青年部婦人部に關する決議案」「勞農新聞雜誌勞農排撃の件」共の他、此れに對して極度に狼狽した勞農一派は「統線同盟支持」「勞農新聞雜誌勞農支持」の議案の追加を申し出たのであつた。

先づ開會と同時に勞農派の一代議員は臆面もなくプロレタリア青年同盟萬歲、左右社會民主々義を倒せ、のスローガンの撤回を迫つて一蹴される等議場は初から異狀なる緊張の空氣を漲ぎらして居た。

議案審議に先立つて當然問題にされるのは代議員比率の問題であつた。本質的日和見主義としての彼等は日本大衆黨に於ける淸黨運動に端を發した反對派運動に參加し日和見主義の醜狀を遺憾なく暴露した。彼等は無産大衆黨の結成當時より事々に孤立化の傾向に追込まれ、僅かに黃斷左翼統線同盟に餘命をつないで居たのであるが、勞青東京府支部創立を期してその乘取りに全力を傾倒して來た。當日は先づ大道憲二が總帥として傍聽席におさまり三十男が三人も五人も代議員として指揮し、當時彼等に依つて指導されてゐた岩月新聞店の爭議團員を引選れて多數を制せんとしたが、この際論代議員を暴露する××的戰闘派の追擊に抗し兼ねて議場を混亂せしめ官憲に解散の機會をあたへた然しながら戰闘的分子はすぐに某所に各代表者を招集し××法的大會を續行して戰闘的議案をすべて可決せしめ勞農派提出の議案は一切否決したかくして戰闘的東京府支部は創立されたのであつた。東京府支部の創立に於て組合同盟内に於ける反對派確立と自主的組合青年部の闘爭を通じてなされる：

……

東京府支部は「自主的組合青年部を確立しろ」

……

のスローガンをかざして猛烈なる活動を展開し全國的戰闘化の爲にも又しば〲飛檄した。この再組織の方針は同盟創立當初に於て決議された日本大衆黨支持とは決定的に對立するものであり日本大衆黨に對する無慈悲なる闘爭が用意されねばならなかつた。同時に自主的組合青年部の爲の闘爭は組合同盟の組織と改良主義的幹部に對する闘爭を必然化せしめ、反對派運動の强力化なしにはこのスローガンは具體性なき一片の空語として終つたであらう。この中間派組合内に於ける自主的組合青年部確立の問題に對しては實現性なき觀念の遊戲として、或は單なる左翼勞働組合の方針に對する盲目追隨に過ぎないと見た者もあつた樣だが、さうした見解は完全なる誤謬であり大衆の左翼化と、動搖する右翼としての本質並にその内部に於ける××的反對派運動に對する認識不足がもたらした結論に過ぎない。この組合青年部の問題こそ反對派運動に於ける青年大衆獲得の爲の有力なる戰術として適用されねばならない。なほ我々の運動は力と力との關係によつて一切が決定することを知らなければならないのだ。

この自主的青年部の問題と共に、當時闘爭ニュースに揭げられてゐた「プロレタリア青年同盟萬歲」のスローガンに對して六月十八日の無産新聞二百二十七號誌上に於て痛烈なる批判を受けたのであるが前者に對する問題は双方間に於ける意見の交換によつて前述の如き決論の下に了解され、後者に對しては先方に誤解された如き何等の惡意なく

……と同等の意味に於て取扱つたものであるが誤解され易き字句を使用したのは遺憾であつたとの標明の聲明書の發表に依つて一切が解決されたのである。而して再組織に對する同盟員の支持と社會民主々義に對する闘爭の熱意は愈々高く四月三十日の市町村會選擧戰には明確なる形を表し、東京府支部より大井町地區の荒川、北千住の中山兩君を立候補せしめる事にした。此れ迄なほ日本大衆黨に對する關係は明確なる形に於て對立の具體的證左は示めされてゐなかつたが市町村會戰に於ては明白に對立が尖銳化された。當時日本大衆黨に席を有して居た荒川君は戰術上一應大衆黨城南地方執行委員會に立候補の公認を迫つたのだがその席上に於て關根某といふダラ幹の勞青とは血を流しても戰ふといふ言質を引提げて大衆黨本部に對する抗議書の形に於て宣戰布告がなされた。不幸にして荒川

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

君はブルジョア法律に抵觸するの故を以て立候補出來なかつたが、北千住に於ける中山君の選擧戰は勞農同盟その他左翼團體との選擧闘爭同盟のカンパニヤーを組織し、大衆黨社民黨に對する完膚なき曝露と尖銳的闘爭の内に四十五票を獲得して措敗したが、此の選擧戰は城北地方に於ける青年工代會議として實を結び二十餘工場九團體五十餘名の青年代表者を叫合して多大の功蹟を納めることが出來た。

先に成された大衆黨に對する聲明書は驚くべき一二常任の日和見主義の爲に全國的規模に迄擴大され得なかつたけれ共東京府支部の戰闘的方針は各地支部の支持する所となり、組合同盟の反對派運動の强化と共に解消への方針は成功的見透が附けられ得る迄に到つた。

超へて六月上旬から勃發した東京長鄉雨帽子の爭議は我が同盟員並に第六區聯合會の戰闘的反對派の諸君に依て、爭議指導權の獲得の爲の闘爭が關東合同のダラ幹に對してなされ、彼等を見事驅逐してかつて組合同盟の爭議に見ない程の戰闘的爭議が戰ひ拔かれた。

この爭議を通じて關東合同第六區聯合會は完全に反動ダラ幹の手から奪ひ取つてしまつた。かゝる過程を通じつゝ内部的には勞農派に對する闘爭は愈々尖銳化されて行つた共の頃はすでに日本農民黨系は自ら遊離し、日勞黨系の反動分子は退却して居た。而して戰闘派の步調は一致して確く、六月中旬「再組織方針書」の發表となり、勞農派に對しては少數ルンペンの一團に迄追ひつめる迄の確信を得たから六月二十六日斷然除名を決行し、本部は戰闘的分子に依て再編成を成した。其の後勞農一派は別個の勞青を組織してへらず口を敲いてゐたが戰闘派の×××込みに會ひ關東全產の本部と共に木葉微塵に紛碎された。彼等の運動は二三のルンペン分子の蠢動であつて問題とするに足らない。

かゝる間にも組合同盟反對派運動の進展に努力を拂らいたへず左翼との共同闘爭を怠らず四月の町村會議戰には勞農同盟及び他の左翼團體との選擧闘爭同盟のカンパニヤーを組織し、無新防衛の闘爭には極力大衆を動員し、演說會には辯士を送り八月一日の國際××デーには指令を發してデモ座談會、ピクニツクを組織する等たへず大衆の左翼化の闘爭がなされた。

地方支部では青森五戸支部の諸君が反戰闘爭を敢行し、新潟支部の諸君は、本部の戰闘的方針の支持の下に大衆黨幹部との强力なる闘爭を通じて農民組合青年部確立の爲に力をつくし、大衆黨新潟縣聯大會には幹部提出の大衆黨青年部組織の反動性を曝露し、その議案の保留の止むなきに到らしめる等、而して越へて八月三十日の農民組合大會には、日農系の青年諸君と協力して青年部確立の決議をなさしめその方針書の決定をした。

七月中旬頃には既に組合同盟内に於ける組合青年部の活動も具體的組織の段階に迄進み先に五月十二日の高砂工友會大會には既に自主的組合青年部確立を決議し、社會民主々義ダラ幹の顏色をなからしめた。かくして七月廿五日頃と記憶するが組合同盟關東地方青年部協議會が成立し、八月に入るに及んで「自主的組合青年部方針書」發表と前後して組合同盟關東地方青年部協議會が成立した。地方支部の組合を背景としないものには勞農組合への喰込みとそれを通じての青年部組織の方針が與へられ解體の諸條件は備り、同盟員一同の意氣愈々高く、[illegible]

八月十八日の關東合同大會には關東合同に席を置く同盟員は第六區を中堅としてダラ幹の本據に肉迫してゆるぎなき反對派の勢力を遺憾なく發揮した。[illegible] 九月中戰闘的解體に備へよの檄が發せられ二十五日愈々解體が聲明されたのである。

勞青の解體への諸闘爭は組合同盟に全努力がなされ、一方に偏した如く見へた事は組合同盟内に於ける青年大衆を最も多くの組織的構成員とし組合青年部確立を解體の唯一の條件として居た性質上誠に當然と云はねばならない。全農に對しては既に春の大會に於て左翼の壓倒的勝利を見、既に組合青年部の確立が決定してゐた時であり(不幸にして全農青年部は四、一六事件の爲め中途座折の止むなきに至つた)勞青が質的轉換の方針を決定した以上は、組合青年部は[illegible]が組織し指導するものであるから全農青年分子に對する働きかけは解黨派的誤謬の再生產であるとの理解の下に手は附けられなかつたが、新潟島根は創立當初からの關係もあり農民組合青年部運動が挫折して居た關係もあつて最近迄行動を共にして來たが今ではダラ幹の壓迫をはね返して青年部組織に全努力を集中してゐる。

組合に基礎を有しない支部の内で充分再組織の方針が徹底せず最後まで行動を共に成し得なかつた支部が生じた事を遺憾とする。

一切の[illegible]工場農村を基礎とした大衆組織を通じてのみ行はれる、自主的組合青年部の確立は、××××[illegible]の絶對的條件でありかゝる過程を通じてこそ過去のあやまれる青年運動の清算が成され得るのだ。

×　×　×　×　×

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

進め

大山さんの演説

「われらの行く所議會であり内閣である。勞働者農民の團結破壞の闘爭である！聽衆の資本家地主喜んで「異議無し」パチパチパチ

勞働者の見た勞農黨

勞働者はこんな事を話し合ふ。

「大山の勞農黨大會に傍聽に行かうと思つてゐると、警察がやつて來て、君は反對か贊成か、代議員として出るならばよいが、もし反對の意見をもつてゐるならば、たとへ傍聽に行くにしても共場ですぐ檢束する。あらかじめ注意しておくとぬかしやがつた「代議員として出るならよいが」とは、官憲が代議員になつて出ろといふ樣に思へる。俺も大分階級運動をやつてゐるが、小さな組合でも一寸した日常闘爭でも組織せんとすれば、すぐ彈壓を受けるのがお極りだつた。總同盟にも長い事ゐたが、爭議でも起せば彈壓は立ちどころに來た。その間にダラ幹がコソ〲と妥協してをるのがお極りだつたけれども、俺達、勞働者の生活の爲めの戰ひは、右翼だらうが左翼だらうが、勞働者にとつては共通して戰闘的だつたから暴壓を受けた。

大山さんの言ふ事をきけば左翼運動だそうだが、その勞農黨創立大會に、代議員として出るのを、警察でおだてるのだから、全く時代が大分かはつて來た樣な氣がするが、全く腑に落ちない。階級對立が激しくなつて來てゐる近頃そんな方針を反動政府がやつてのける筈がない。そんな事をいふのは、何かの魂膽があつての事だ。口先だけの左翼で實際は社會民主々義といふところだらう。

全く人を馬鹿にしてやがる。この氣持は俺達勞働者にとつて全く共通の氣持だ。搾取されるものに安協せよとは無理な話だ。朝から晩まで眞黑になつて働らいて苦しめられ首を切られ、妻子の飢へてゐるのを見てゐる勞働者の氣持は大學教授の氣持や、多額納稅議員の息子さんには、ちと分りますまい。」と。

戰闘的勞働者は、こんな氣の利いた事を云つてゐる。なか〱骨があるではないか。

（龜戸、S生）

×　×　×

組合同盟大會に現れた大衆の進出

西野良三郎

十月六七兩日神戸キリスト教青年會館に於て開催された組合同盟大會は帝國主義時代大衆の尖銳化を實證する具體的事實である。

一九二八年末期より起つた組合同盟大衆の戰鬪化に恐怖したダラ幹社會民主々義者は意識的に大會開催期日を延期ししかのみならず比較的に客觀的影響力の薄い關西地方の神戸で開いて大衆の反對運動を最大限度までに抑壓し弱め様と計畫したのであつた。社會民主々義者の計畫的の反對派運動阻止にも拘らず全國の戰鬪的勞働者は斷乎として憤激し無慈悲にして果敢なる民主々義者への鬪爭は彼等をして戰慄せしめたのであつた。

先きに開かれたる關東合同の大會を見るに望源一派が戰鬪的勞働者諸君に言論の自由を封鎖した如く亦々大會に於ても棚橋のファシスト一派に依りて幹部反對派は徹底的に言論の封鎖を加えられた。然し共の反動的封鎖によく耐え最大限度にイニシアチーブを發揮して凡ゆる努力を拂われしかも執拗に鬪爭した事は主觀的にも客觀的にも相當の影響を與えた大きな收獲である

嘗ては組合同盟も日本のプロレタリア運動の强力なる支配的勢力を具備して居たが關東合同の大會及び同盟の全國大會を劃として漸次中間派的存在より沒落に向ひつゝある事實が看取される。

大會第一日を見るに此の日一日と二日目の過半は反對派の質問戰とダラク幹部攻擊に終始したのであつた。

國際勞働會議の書記局に泰然として恥を曝らして居る世界的裏切者アルベールトーマの諮問會が一晩の中に招待會となつたダラ幹の鐵面皮の裏切的行爲の質問に對する答辯は實に辻妻の合はぬ理論的根據の無い事をクド／＼しくしやべつて戰鬪的勞働者の罵倒をあびせられた。此の問題については議案として「國際勞働會議否認」の議題があつたので理論的範圍についての質問戰では餘り追求はしなかつた樣であつたが民主々義者の客觀的認識の顚倒と理論的無資格は聞し者をして實に驚ろかざるを得なかつた、それでも彼らは最後には何時も型にはまつた樣に階級運働の實踐家たる事を誇張して居るのだからあきれざるを得ない。

望源の公然たる裏切の運輸勞働組合を運輸資本家に賣渡さんとした事實の曝露が亦々忌憚なく全國の大衆の面前へさらけ出された。此の答辯に厚顏な望源は「もつと具體的に質問をしてくれ」のなんのとぬかして巧妙に答辯して自己の罪惡を合理化せんとしたければ共更に關東地方の代議員諸君に依つて徹底的に具體的事實を指適されたのみならず直接運輸勞働組合に關係ある運輸の代議員が望源裏切の一切を立證した爲め滿場の惡罵を買つて彼の再答辯は最早共の必要無しと騷がれて葬り去られた。斯くした裏切の曝露は次ぎ／＼と行われ中山紡績爭議に關屋博と上條愛一の兩人が協調會の草間と結託して資本家から金をもらつた事が曝露られて遂に彼らは共の事實を自白した。彼らの言ふ所に依れば「そう云ふ事は爭議戰術の一つとして止むを得ない」そうなんだそうだ。だが然し從愛すべき上條は厚顏無恥の大親分望源と多少異つて人間らしい所があると見えて組合同盟の中央部から身を引き事實上幹部の地位より失脚して了つた。

以上の事實を綜合して見たゞけでも組合同盟の民主々義者は總同盟の札付きのダラ幹と何等の相違點が無く想像して見ても内部的には如何なる取引が協調會又は資本家となされて居るかを推定するに難くない、之等一連の民主々義者を良き指導者と盲信して居る大衆こそ哀れむべきである近くは品川製作所の組合同盟と總同盟との醜き爭ひ合ひが共の好實例である。

二日目に日程通りの議案の審議に移つたが、反對派の議案產業別整理に關する問題が大多數の壓倒的勢力に依つて採決さるゝに至つた。

國際勞働會議否認の件は議長の意識的言論封鎖に會つて客觀的認識の誤謬の指適と理論的反駁が不可能に陷し入れられ民主々義者にのみ有利に導かれて遂に否認するに至らなかつたが、然し全國の大衆の腦裡には大會を通じて否認すべきである事をアッピールしたのであつた。唯だ從來からの民主々義の制約下にあつた關係の故と今一つは大會中ダラ幹共は總動員して個人的承認の諒解運動に奔走したのと言論の封鎖の三つの理由によつて彼等の有利に導かれたのであつた。

自主的組合青年部の議案は官憲の干渉に會つて審議未了に終らせられ之れに加ふるに民主々義者の意識的反動政策に引掛かつて葬り去られたが全國の戰鬪的勞働者諸君の得たる貴重なる經驗は大會のみが鬪爭の舞臺でなく××的實踐のみが鬪爭の舞臺である事

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

だ。

二日間の大會が終了するまで議場の混亂と休憩に次ぐ休憩は數回に及び中止の連續に××的鬪爭の空氣場内に滿ち戰鬪的更生の刺激を與えて組合同盟の大會に於ては未だかつて見ざる鬪爭に横溢した然して紛糾した時期的大會であつた。

斯くして過去に於ては光輝ある指導者と崇拜された彼ら一連の民主々義者共は彼らが指導した大衆自身に依つて批判され反階級性を暴露されるに至つた。

こうした實例は彼の現實主義を以てほこる總同盟大衆の中にも其萌芽を見る。之等の幹部反對運動は漸次社會民主々義的形態から離脱してプロレタリア的秩序を保つ戰鬪的反對運動にまで進出するであらう事を確信することが出來る。

勞働組合内のかゝる現象は益々プロレタリアートの尖鋭化を助長した左翼陣營の再確立を可能ならしめるものであり歴史的過程の不可避的必然は治安維持××法の發壓と××テロルの横行とを以つてするも斷じて消滅するもので無い。

世界資本主義沒落過程の客觀的諸條件は急速に蓄積されつゝあり帝國主義的矛盾は或は陰然或は公然と諸々に起りつゝある、之等の具體的事實を看取する時一刻時も××的プロレタリアの組織と運動とを怠る事は出來ない、一方プロレタリア大衆は量的にも質的にも××的に進出しつゝある今日左翼よりの動きかけの重要が茲に存する。

組合同盟大會提出の階級的議案

一、産業別整理に關する件(可決)

關東製材從業員會提出

(主文) 組合同盟所屬組合及び支部を産業線に沿へる産業別組合に整理する事

(理由) 一、世界大戰以來急速にその覇權を確立せる我が國のブルジョアジーは産業合理化の強行に伴つて各産業部門に於ける資本の組織カルテル、トラスト等を益々鞏固となし以て勞働階級に對する攻撃力を集中化しその鬪爭の組織を強力ならしめつゝある同一産業部門に於ける勞働條件が一齊に劣惡化する操短又は合理化の解雇等はかゝる資本攻撃の具體的な表現に外ならない。

二、かゝる資本家の組織は今やほとんど全重要産業にわたつて存在してゐる例へば紡績産業に於ては五十四會社から成る大日本紡績聯合會、製紙産業に於ては九社全生産の九割より成る製紙聯合會、化學工業にあつてはセメント聯合會(十六社)晒粉聯合會(九社)等あり後者は現に二割五分の高率の操短を決議し居るその他製糖等においては糖業聯合會(十一社)鑛業に於ては石炭鑛業聯合會造船業においては二火會(關西)三八會(關東)なる資本家團體あり金屬産業に於ても本年初めより東京電氣機業組合を中心として(カルテル)化運動が進行しつゝある。故に我等勞働組合が、かゝる資本家の統一的組織に對抗し得る最も有効な鬪爭は産業別鬪爭を最も有効に戰ひ得る組織は強力なる集中的戰鬪的産業別組合である故に我々勞働組合にとつての最も重要なる階級鬪爭戰術の一つの目標は

イ、同一産業組合の産業別合同による全國的單一産業別組合の樹立。

ロ、かゝる全國的單一産業別組合の全國的總聯合の結成にあらねばならぬ而して勞働階級の右の方針の第一歩として本大會は以上の見地よりして狹隘なる組合利己心より脱却して階級的立場に立つて我が同盟に於ける産業別整理を徹底的に斷行し更に進んで全國的單一組合の樹立及びその全國的總聯合の確立に向つて邁進せん事を決議する。

一、全國勞働組合會議即時提唱の件(修正)

飾磨合同勞働組合提出

(理由) 今や我が國の帝國主義ブルジョアジーは切迫せる國際戰爭準備と産業合理化を積極的に遂行する爲亦帝國主義資本主義の内包せる必然的諸矛盾の不可避的爆發の結果より來る惡夢と苦鬪から脱却する爲必死的に無産階級の陣營に向つて彈壓を加へつゝある我等はかゝる彈壓に抗し、勞働者の利益の擁護伸張と其絶對的勝利のため勞働組合戰線の戰鬪的統一の必要を痛感するものである。殊に、今や勞資の戰野は資本家系統別線、或は産業別線に沿ふて一戰隊の對陣を形成するに至つた、カルテル、シンヂケート之である。然るに勞働者の組織が滅裂で各個別的に鬪爭する如き現狀に於ては有効に對抗する事は困難である。産業別線に沿ふて勞働組合を再組織することは緊急當面の問題である。

次に實例を擧げれば、今其の福島紡績の福山及笠岡工場は總同盟に、同飾磨及姫路工場は組合同盟、東洋紡四貫島工場は總同盟に同姫路工場は組合同盟に、合同紡天滿工場は總同盟に同神島工場は組合同盟及總同盟に、それ〲組織されつゝある。以上の如き狀態は紡績産業のみでなく、舊評議會其他數個の全國的組織を持つ勞働組合の對立的存在の弊害より起る反階級的共通の表現である。故に我等は全無産階級的立場に立つて從來の職業的原始主義の一切を揚棄して以上の諸共同鬪爭と産業別線に沿ふ組合の再組織を容易ならしめるため速かに組合戰線の戰鬪的統一の前提として即時全國勞働組合會議を提唱し其の實現に努力すべきである。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

寫眞說明

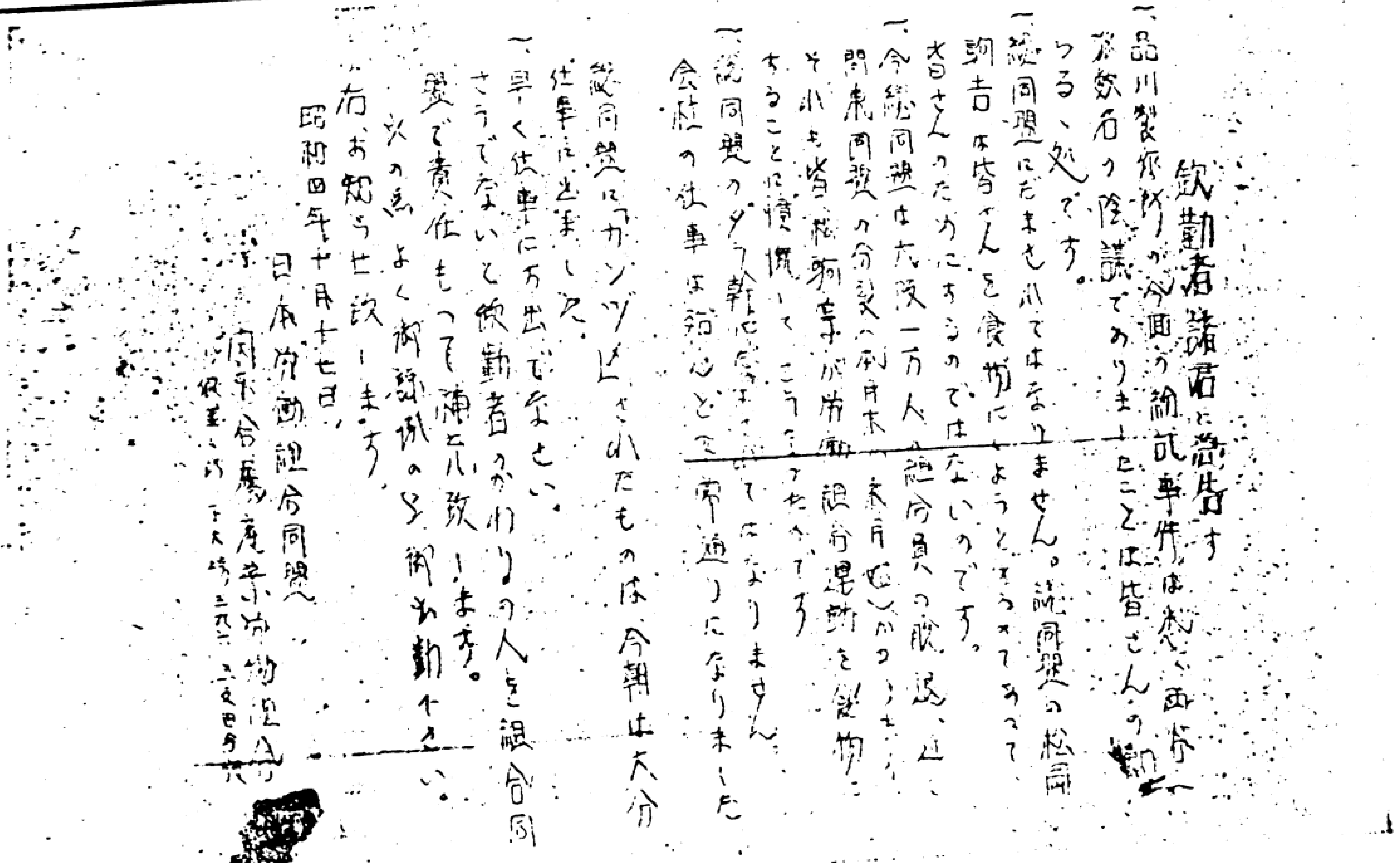
（A）（大）は伊藤仙太郎と云ふ資本家の工場に雇はれてゐた多くの勞働者が、その資本家の惡虐な酷使に堪へ兼ねて勞働者は勞働者自身で已れの利益を增進し、守らねばならぬと云ふ正しい考を持つてゐる勞働者達がその團結の力で自分達の長い間我慢してゐたところの不平や不滿を、伊藤仙太郎と云ふ資本家の前に打ちまけて、自分達の利益を要求す可く戰つたことがあつた。

そのとき、突如として、諸君！突如としてだ！此の勞働者達の血の出るような切實な要求を蹂み躙つて、そして、その爲めに、勞働者の團結を打ち壞はそうとする運動が起つたのであつた。そして、此の勞働者達を絞め殺すところの、爭議破壞裏切運動は、世間によくあるような一、二の意思の弱い個人主義者が陷る過失等のものではなく、資本家伊藤仙太郎から賴まれて請負事業として一定の目的をもつて、しかも組織的に行はれたのであつた。

即ちそれは「日本勞働組合同盟」と云ふ勞働者の利益を擁護することを表看板――只表看板だけだ！とする勞働組合と「日本勞農黨」と云ふ無產階級の利益を擁護することを名乘つてゐる――これも表看板だ！無產政黨とが、只幹部だけの利益の爲めに、言ひ換へると、彼等一、二の組合幹部や、黨の領袖の金儲けの爲めに、勞働組合と爭議とを打ち壞したのであつた。

そこで、かような歷史的珍文書が階級對立の社會秩序の下に勞働組合や無產政黨が、その利害の相容れない資本家に對する「感謝狀」となつて生產されたものである。

（B）（小）は品川製作所と云ふ資本家の大工場で、これも勞働者が團結して、資本家に自已の正しい當然の要求を叩き付けて爭議を起したとき、此のような、諸君の見らるゝ通り爭議團に對して、「早く仕事にお出でなさい、そうでないと缺勤者のかわりの人を組合同盟で責任をもつて補充致します」云々、即ち「爭議を起してストライキ等やつてゐれば組合同盟は資本家の利益の爲めに組合同盟の手で勞働者を爭議團員の代りに工場へ雇ひ入れて仕事をさせるから云々」と、も一つ言葉を代へて言へば「スカップを組合同盟は品川製作所に賴れてやるから、爭議團の勞働者諸君は、要求なんか引つ込めて、グヅグヅ文句を垂れずに、安い賃銀で、長い時間で今迄通り「平和」に働く方がお前達の爲めになるのだ」と云ふところの意味を含めたビラで、故田中義一から一萬一千圓を取つて反動黨になつた日本大衆黨――（A）を出した日本勞農黨の後身が日本大衆黨である――所屬組合の日本勞働組合同盟の發行したものである。勞働者諸君は注意せよ！（A）も（B）も共に、それの發行者並に署名者の顏觸が嘗つて全日本の無產階級に對して、我が進め社一派から「濟黨」によつて告發せられたところの「ダラ幹」と稱する反階級的前科者ばかりにして、待合「みなと」の御常連の御客樣ばかりであることに！



從勤者諸君に忠告す

一、品川製作所の今回の紛議事件は…皆さんの…陰謀でありました…

一、總同盟にだまされてはなりません。總同盟の松岡駒吉は皆さんを食物にしようとするのであつて皆さんのためにするのではないのです。

一、今總同盟は六段一万人の組合員の脫退、…關東同盟への分裂へ…それも皆松岡等が労働組合運動を食物にすることに憤慨してこうなつたのである

一、總同盟のダラ幹に煽てられてはなりません。会社の仕事は頑と平常通りになりました

總同盟に「カンヅメ」されたものは今朝は大分仕事に出ました。

一、早く仕事にお出でなさい、さうでないと從勤者のかわりの人を組合同盟で責任もつて補充致します。

次の点よく御諒承の上御出勤下さい。

右お知らせ致します。

昭和四年十月十七日

日本労働組合同盟

…關東合同労働組合…

謝禮状

無産階級解放運動ノ為メ決死的闘爭ヲ續ケ來リシ同志等ハ此ノ度伊藤仙太郎工場ニ於ケル乱闘事件ノ犠牲ヲ出スニ至ルヤ熱誠ナル諸賢ノ御後援ト厚キ御見舞ニ依リ犠牲者ト本組合ニ何等後顧ノ憂ヒ無カラシメ得タルハ本組合ノ深ク感謝スル所ナリ爰ニ謝意ヲ表セシメン為メ謝状ヲ呈ス

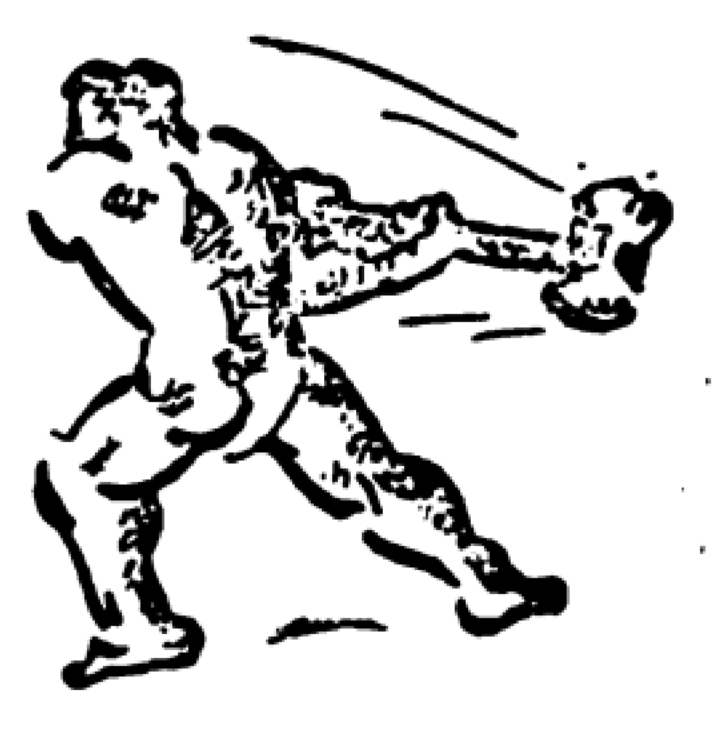
犠牲者

渡邊清志
道村重夫
稲垣軍藏
髙島増太郎
永田義雄
渡邊八重一郎

關東合同労働組合
組合長 望月源治
日本労働組合同盟
會長 棚橋小虎
日本労農黨
書記長 麻生久
日本労働組合同盟
關東合同労働組合

昭和三年七月

伊藤仙太郎殿



組合同盟大會傍聽記

―幹部派對反對派の對立―

一傍聽者

十月六、七日兩日の組合同盟大會を傍聽したものは、戰鬪的反對派の勢力增大に驚いたに違ひない。意識せる反對派は量的に少なかつたかも知れないけれども、此の戰鬪的勞働者の階級的立場が全勞働者の共鳴と支持を戰ひ取るに充分であつたから、常に幹部派の陣營は亂れて幹部派は反對派の言論封鎖をなしきたつたけれども反對派の一切の發言は常に有利に進展した。

組合同盟大會は、反對派の影響を全勞働者に與へる絕好の機會であつた。反對派は此の機會を最大限に戰ひ進めて絕大なる成功をおさめた、以下拔き書式の傍聽記である。此の傍聽記の中において組合同盟の幹部の反動性と戰鬪的反對派の於ける立場はすべて明かになるであらう。

和歌山勞働者組合除外の問題

大會壁頭の幹部派反對派の對立は、資格審査委員會が和歌山勞働組合を除外したに始まる。

○多田（高砂工友會）「和歌山勞働組合を除外せる理由は如何

○藤岡（關西事務局）「和歌山勞働組合は、無産者新聞の支局があり、政獲同盟の支持者であり、勞農青年同盟に加盟してゐる。しかも彼等は大山郁夫氏が新黨組織の提唱をなした時「合法主義反對」のビラを撒いたぐらひ極左である。しかも組合費は一回も拂つてゐない。」

○多田「委員會の席上で上條氏は組合費は拂つてゐなくとも、眞實に戰つてゐるならば承認すると云はれたがこの點如何。恐らく幹部は、和歌山の戰鬪的勞働者に恐怖したために除外したのであらう。」（嵐の如き拍手）

○〃岡「××黨の支持者を認める事は出來ない。××黨は敵である」

○多田「關西事務局において和歌山勞働組合を承認するか否かゞ決定されて本部に報告されたため、審査委員會において除外されたといふが、元來、關西事務局は、會議招集狀を常に個人に出し團體には出さぬ。團體の意志を代表しない樣な決定は、この大會で再審議すべきである。」（嵐の如き拍手）

○菊川（同盟本部）「資格審査委員會にかけて再審議致す事にしたい」

○議長「此の問題は菊川君の意見の如く審議致したい。」（滿場一致承認す）

以上見らるゝ如く、藤岡文六君等の幹部の否認的發言にもかゝはらず、反對派の一絲亂れざる階級的立場が滿場の代議員に、否でも應でも承認せざるを得ない樣に成功し資格審査委員會において二名の代議員を承認せしめた。

議長選擧と犧牲者救援

棚橋會長が議長選擧の際、組合同盟の規約により會長である私が議長に就任すると述べて議長席についたが、そんな規約は何處をさがしても見當らぬと關東合同の山名君に突込まれて幹部は脊くなり。

○菊川ー現在印刷してあるのは第一、第二大會以前の暫定的規約であつて、第一か第二かの大會で修正されてゐる樣に思ふ。慣例だと思つてくれ」と珍妙な答辯をなし「修正されてあるなら徹底させておく方がいゝ」と山名君に皮肉られ、幹部派のあまりに露骨なヘマ振りを曝露した。

關西合同の笠島末吉君が犧牲者救援の基金を募集したいと緊急動議を出して承認されたが、棚橋小虎君は官憲席に遠慮して

棚橋「此の救援金募集は××黨事件とは何等の關係ありませんから御安心下さい」と念をおす。

望月源治君の裏切事件

上條愛一君の本部報告終るや直ちに質問戰に入り、

○多田「進め十月號所載の日本運輸勞働組合の醜聞事件について望月君の答辯を得たい」

○望月（同盟本部）「そば屋で集らうとしたが、そば屋の都合で目黑支部が勝手に小野の家で開いたのである。惡いと云へば惡いかも知れぬ。組合長の後任に依君を推さんとしたのは準備會の決定だ」と肯定的答辯をする。

○小關（關東合同）「此の問題は關東合同大會で問題にされた時、望月君は發言を押へて謝つた事がある。組合の重要な會合を資本家である小野の家でやる事は絕對に惡い。いはんや、組合員でもない小野の息子の發言を許し、組合の名稱から勞働といふ文字は危險だから削除する樣な策動をやつたにおいておやだ、望月君の階級的良心を疑ふ。デマゴーグではない。日本運輸勞働丸の內支部の組合員全體の責任をもつて發表した事だ」

○議長「此の問題は、個人の階級的生命に關する問題であるから徹底的に是非曲直を明かにしたい」

（註、議長棚橋は幹部派でありながら時々小英雄主義を發揮し

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

て、(名議長とおだてあげらる)

○那須(關東合同)「小關君の說によれば、組合の名稱云々をもつて運動を律せられる樣であるが、運動は名稱によつて決定されるか」

○小關「名稱は第二の問題である。われ〱はたゞかゝる反動的事實を指摘して責任を問ふだけである」

○議長「此の問題は大體双方の申分が明かになつた樣であるから採決する。望月君の釋明を承認せらるゝ方は擧手を願ふ」

望月君の答辯を承認するもの代議員の四分の一に過ぎず、ダラ幹の聲高く議場混亂し、幹部派の狼狽その極に達す。議長形勢非なりと悟るや、忽々として姿を消し、藤岡副議長代つて休憩を宣す。小松原光太郎君、棚橋議長を罵倒し壇上にかけ上つて亂暴を演ずるなどの珍光景を呈した。

此の暴露戰は、幹部派の代議員すら望月君のために擧手しなかつた。たしかに、望月君の裏切りの肯定的答辯には贊成は出來なかつた。反對派の影響力は滿場を壓した。大會における反對派の鬪爭に「進め」十月號は大なる効力を與へた。再開して、副議長藤岡「只今の望月君についての採決は取消す。何故なれば本部報告の一部分のみの質問に對する採決は不要であるからだ」と取消しを迫り、議場再び混亂におち入り、第一日はそれから混亂につぐに混亂をもつてした。幹部派の陣營が亂れたからである。

アルベール、トーマに關する質問

○多田「トーマは過ぐる歐洲大戰に資本家と共に戰爭に贊成した國際的裏切者ではないか。そのトーマが日本來朝の際、歡迎會を開き、望月君は胸にかゝげた組合同盟のマークをトーマに與へ、將來行動を共にする樣にしたひと感激の握手をしたといふではないか。全く御話しにならぬ。本部の意見を聞きたい。」

○上條「歡迎會ではなく詰問會だつたのである」(ゴマかすなゴマかすなの聲おこる)

○議長「すでに時間がない。本日は閉會にしたい」退席者多く騒然として第一日終る。

勞農青年同盟排擊の理由

第二日。本部報告に關する質問續行す。

○山崎(高砂工友會)「勞青は左傾したるが故に組合同盟が支持を取消したといふが、その左傾とは如何なる事であるか」

○望月「組合同盟、日本大衆黨をタ、キップセといふ彼等の發明を見ても、すべて諒解されるではないか」

○山本(川口金屬)「すでに勞農青年同盟は本部さへない。何處にあるか分らぬ。彼等は撹亂的ビラばかり出す。本部の態度は正當である」

此の時一般報告に關する質問打切り採決の動議出で、議長混亂の內に本部報告は承認されたと宣す。

○高井(關西合同)「反對派は事每に本大會を混亂せしめようとしてゐる。議長は嚴重に取締られたい」

幹部派は陣營を整へて逆襲して來た。議事に入る。

反對派提出の戰鬪的議案審議の狀勢

△自主的青年部確立の件(高砂工友會提出)

官憲によつて審議中止を命ぜられるや、

○增田(飾磨合同)「自主的青年部組織の問題は何等危險な事ではない。官憲が中止を命じたからといつて審議しないのは不部合である。續行せよ」

(嵐の如き拍手)官憲檢束せんとして大混亂におち入る。

結局、提案者をふくめての委員會によつて同盟の青年部組織に各個の意見を反映せしめる事に決定。

△勞働組合會議即時提唱の件(飾磨合同提出)

○安藝(高知聯)「贊成ではあるが實行の問題について質問したい。全團體の參加をもつてするか、或ひは、全團體の參加がなくとも可能な範圍においても遂行するか」

○增田(說明者)「後者である。」

○望月「極左とでも直ちに共同動作をとるのであるか」

○增田「極右であらうと、極左であらうと勞働階級の利害に立脚する限り、われ〱は共同するものである」(嵐の如き拍手)

○末永(飾磨合同)「前年度の大會において決定された全國勞働組合會議とは如何なる關係にあるや。」

○增田「昨年決定された會議は幹部がサボタージュしたから別個に提唱した譯である」

質問打切り討論に入る。

○望月「主旨には贊成であるしかし、極左との共同動作をとる事には反對だ。前年度の會議の提唱は左翼の戰術によつて破壞された。組合同盟幹部がサボタージュしたのではない。組合同盟の戰線統一委員會を續行して、此の提唱を反映させ、努力せしむる修正意見を提出する。」

○山名「望月君は提唱は困難だと云はれるが工場の勞働者は、資本家の攻勢によつて統一を望んでゐる。統一をサボるのは裏切りである。絕對に本案に贊成である」

○安藝「指導精神にこだはらざる合同は不可能だ。一方でダラ幹ダラ幹と中傷して合同出來る譯がないではないか。だから戰線統一委員會に一任すべし」

討論打切り採決に入り、原案贊成者、五十九票に對し、修正意見六十四票をもつて原案否決、修正案可決。

△產業別整理に關する件(關東製材提出)

○望月「組合同盟も從來この問題に努力してゐるではないか」

○難波(說明者)「組合同盟の從來の產業別整理は單なる縄張り式のもので、幹部の親分主義的利害に反せざる限りにおいて行はれたものである。われ〱は階級的立場から、かゝる態度を打破しなければな

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

らない」

〇安藝「組合同盟内のみの整理なりや、他國籍所屬をふくめるものなりや」

〇難波「勿論、後者をふくむものだ」

質問打切り採決に入る。

〇議長「原案に贊成の方は擧手を願ふ」（贊成者少數）

〇多田「反對せざるものが贊成せぬ譯はない。反對なれば反對の決をとるべきだ」議長反對の決をとれば反對者なし原案大多數を以て可決。

此の時、幹部派狼狽して採決やり直さんと主張す。議長採決やり直しの可否を諮れば採決やり直しの必要なしとするもの六十七票やり直さんとするもの五十八票をもつて原案可決、反對派に凱歌あがる

△國際勞働會議否認に關する件（關東合同、高砂工友會、高知聯提出）

〇小松（關東合同）「國際勞働會議は勞働者を欺瞞するも甚しいものである。本案に贊成である。」

〇小松原（本部）「左翼に對する戰術的利用政策として承認するのであるから、本案に反對である。」

〇今村（九州聯）「ブルヂョアの欺瞞策である事は正しい。しかし、それは理論であつて實際的に運動を發展させるといふ立場から考慮すれば否認するのは不利である。」

〇安藝「もつと案を練るべきである、委員會に附記すべきである。」

〇伊藤（關東合同）「安藝君の意見には贊成である」反對論續出の中に委員會說可決さる。委員會によつて「否認の態度は改めないが客觀的狀勢において投票權を考慮する事に決定した旨報告さるゝや、議長採決に問ひ暴力的に可決とおし切る。

以上の樣な反對派提出の議案は幹部派の言論封鎖と戰つて常に拍仲的勢力をもつて肉迫した。産業別整理に關する件の如き、全く形勢を逆轉せしめ反對派の勝利となつた。勢力の強い幹部派の代議員がやゝもすれば反對派の議案を支持したのは、幹部派にとつて全くお氣の毒な事であつたしかし、國際勞働會議否認の議案の如きは幹部派の勝利である。幹部派である關東合同高知聯から提出せしめ、提出者が委員會說を持ち出し、委員會でコツソリもみ消す計劃だつたのだ。それ以外には安藝や石橋がこんな議案を提出する理由がない。

進め讀者グループ組織と勞農組合との關係について

坂口震太郎

私は勞働者としてハンマーをふるつてゐる―「進め」讀者である。「進め」が明確なる左翼的方針を守つて進んで行くことは歡びにたへない。私はこゝに進め社本部の諸君と共に一般諸君に向つて廻らぬ筆ながら一つの提案を書くことゝする。私の提案しやうとする問題は本誌上に於てもあまり明確に成されたことはない樣だが最も重要な問題であると思ふ。

親愛なる進めの一般讀者諸君一つ考へて見ようではないか。俺達勞働者農民は階級的出版物としての進めを讀んでたゞそれ丈で良いであらうかと。私は否と答へる。然るにだ、尚多くの勞働者農民諸君の中に何等の勞働組合農民組合にも屬して居ない人達が澤山ある樣な氣がする。諸君それで良いのか。？断然良くない。そんならどうすれば良いのだ、俺達は勞働者なるが故に農民なるが故に、政治的にも經濟的にも鼻糞程の自由と平等も奪ひ取られて生きる事の自由さへもないのだ。

十時間も十二時間も、クタクタにこきつかはれて一家のその日の生活さへ出來ないと云ふ有樣ではないか。おまけに資本家や地主の御都合次第で首だ小作地取り揚げだやれ賃銀値下だ年貢米をもつと納めろだと奴等の云ひ方題仕方題だ。俺達の血と汗で贅澤三昧威張り方題それに反對でもしようものならこわいおちさんが一寸こいでブタ箱行だ。學校の教員や坊主や神主や御役人樣方は口を開けば有難や昭和の御代だ稅金が高いのは御國の爲だ我慢しろ、働けうんと不平を云はずに働て險約しろだと、何をぬかすのだ。稅金が高いのは資本家の金もうけの爲にやる帝國主義××をォッ初めて俺達を××××爲ではないか。此れ以上働いてまづい物を食つて險約したらどうなるんだい。それから未だ此んな事をぬかす。君達が不平を云ふのは間違いだと立憲主義の有難い御世で普通選擧も敷かれたから意見があつたら議會を通して述べ給へだと。之れは勞働者の味方顏した社會民主々義者と云ふ奴等の犬までが鳴物入りではやしたてる。何が普通選擧だ。何が議會だ。オイ諸君。諸君の內でこの有難い普通選擧で選擧權を持つてゐる者が何人あるんだ。十重二十重にからんだ法律で俺達の選擧權など初から問題にならんではないか。俺達の中から代議士でも出さうとすると二千圓の保證金を納めろだと初めから俺達にそんな餘裕があつたら文句なしだ。それから愈々と云ふ段になると目の玉の飛び出る樣な彈壓だ。出たかと思つたら無智な反動をそゝのかして××も奪ひ取つてしまひやがる。それからその議會にだつて俺達の要求が雀の涙程も通つた事があるか。××なんぞ俺達をより一層搾つて不平云はせない樣に押へ附ける所の機關以外に何んかでもあると云ふのか。それでも皆んなはだまつてゐようと云ふのか。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

どう致しまして、此んた不合理な社會は何んとかしなくてはいけねえと云ふ事は、俺達勞働者農民の頭にいつもいつぱいだ。そんならどうしようと云ふんだい？[illegible]だ。[illegible]一面、[illegible]ヤの兄弟達はえらいや。俺達も今の生活苦から逃がれ樣とするならば、勞働者と農民が組合をつくつて資本家と地主と戰ふより外ないんだ。そうだ、だが待てよ、日本にも組合とか無産政黨と名乘る奴が澤山ある、どれに這入つても俺達の此の要求は達せられるのか。決して達せられないと俺達は云ふよ。君達はどう思ふ。

日本大衆黨や社會民衆黨や大山一派の勞農黨なんて口では勞働者農民の味方の樣な事を云ふが勞働者や農民の利益の爲にどんな鬪爭をやつたんだ。演說會や選擧でごまかして、一二回先の內閣組織にはこつそり聯立內閣でも組織するこんたんだ。社民の安部さんが民政黨は立憲內閣だの何んのと云つて提灯を持つてゐた。日本大衆黨の奴等だと勞働者や農民が戰鬪的に成らうとする奴をいつも抑へ附けて今はそんな時期ではないからおとなしくおとなしくと云つて胡麻化す事ばかりに狂奔してゐる。大山一派の勞農黨でもそうだ。[illegible]。此んなブルと野合して出來た政黨で何が出來ると云ふんだい、馬鹿にしてゐやがらあ！奴等は帝國主義戰爭の事については一口も云はない。資本家地主がやる金もうけの戰爭でいくら勞働者農民が×××ろされようたつておかまいなしだ。此れで奴等の本質が充分に知れるではないか。俺達にはそんな××××なんて用はないんだ。

だとすると俺達はどんな組合に這入つたら良んだいと云ふだらう。俺はかう思ふ。日本では日本勞働組合全國協議會全國農民組合が一番戰鬪的勞働者農民の利益の爲に鬪ひ抜き得る組合だとすれば、進め讀者で勞働者は協議會へ農民は全國農民組合へ這入るのが本當ではないだらうか、單に階級的出版物は讀んだ丈では仕方がない。必ず同志を集めてそれを鬪爭に生かすべきだ。一人の讀者は必ず三人五人のグループをこしらへて、其グループは必ず先に云つた樣な農民組合や勞働組合に加盟せねばならない、そしてその仕事を手傳ふべきだ。そしたらそんな戰鬪的な組合のない所ではどうしたら良いか。そんた所では一人でも多くの同志を集めて勞働組合農民組合の組織に努力せねばならない。

それはそうとして右翼組合や中間派の組合にすでに加盟して居る者は脫退して左翼組合に這入らねばならないかと云ふだらう。所がそうではない。俺はこう考へゐる。總同盟や組合同盟や其他の右翼組合や全日本農民組合に居る人達はそれから脫退した所で一人では何んにも出來ない。むしろそうした反動組合に最後迄ふみ止つてゐて××的反對派をこしらへてすでに組合同盟には××的反對派が活動してゐるからそれに加盟し全組合員の左翼化の爲に鬪爭し、日本勞働組合協議會や全國農民組合に近づく樣に努力せねばならないと思ふ。朝鮮や臺灣等の植民地の兄弟達も其の土地の最も戰鬪的な組合に加盟しそうした方向に向つて進むことが正しいと思ふ。どうだ諸君、諸君はそうは思はないのか。

此れから俺達は農民組合や勞働組合の仕事に全力を拂ふ事にしようではないか。工場農村を基礎とした組織とそ最後迄俺達の城塞だ。いかなる反動××テラーにも斷呼として鬪爭が出來るのだ。そうした方向に俺達が努力してこそ「進め」の階級性を具體的に生かす事になるではないか。

又記事でも俺達の生々しい鬪爭の體驗から生れた記錄こそ最も價値があるのだ工場農村からどしどし記事を書いて送ることにしようではないか。

それから確實に紙代を納めることゝ讀者網の組織も、怠ることの出來ない階級的義務だと思ふ。以上書いたのは云ひ足らぬことも多いと思ふが意見があつたら本誌上を利用して聞かしてもらい度い。

× × ×

斷頭臺

エツチヤン、サカルの御兩所、お玉さんの御亭主に一喝さる

「くだらネイ小理窟でなく、俺達は腹で運動を行るのだ」と云ふ組合同盟の安藤盛君、戰鬪的現實主義者の鈴木悅次郞君のお二人方、過ぐる一日通稱利彥亦貝塚澁六先生のとこへ伺候し、「全國同盟は麻生以下の幹部排擊の爲め、私達は反對派の大會を行らうと思ふから三百圓々出してくれ」と恐る々々伺を立てゝ見た。そこで澁六先生のたまはく、

「そんなことが君等に行れますかネー」と。エツチヤン、サカルの兩兄イ、

「斷然行ります」と。貝塚老沈思默考數分間、やゝあつて思入れよろしく、

「では諸君の階級的熱情に鑑みて、拙者は金五圓也を呈しよう」と。

そこで、ガラリと當の外れた兩君、かくてはならじと、昔しの同志の蔓を使つて、寒村勝三居士から利彥先生を說かんものと、「愛する玉子」のパヽさんを、時に訪ねて、ソツと御機嫌を伺つて見たら、色よい返事ならぬ「馬鹿！」と一喝お灸をすへられ呆々の體で逃げ歸りしとや。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

全土戰報□□

「進め」研究會のレポ
——失敗して考へさせる事——

××支局　××生

僕の縣には「進め」の支局が五つある。その內四つは農民組合の組織されたる土地であるが、後の一つは全然未組織地である。

僕の家へ、その未組織地の支局から、××君といふ責任者が訪ねて來て、研究會を開くから來て貰ひたいとの交渉を受けた。いろ〳〵聞いて見ると、その地方では農民の自然發生的不平が高まつて、農民組合組織の機運が熟してゐるとの事であつた。

しかも、その支局は少しも官憲が知らないでゐるし、支局の研究會を農民組合組織の機會にしようと相談した。××君がその日は歸つて讀者グループで日を決定して通知して來た。

その研究會の朝になつて、警察がやつて來て「今日の研究會には誰れが行きますか」と訊いた。知らないと思つてゐる事を知つてゐる。××君には、全然秘密にする様に話してある。全く不思議な事だと思つたし、しまつたと思つた。何故なら、組織以前に事が分つて彈壓を受、けつぶれて了つた事を、僕達はあまり數多く經驗してゐるからだ。

知れてゐるなら最早や仕方がないと乘込んで見ると、スパイが七名も來てゐる。今日の研究會に臨監するといふのだ。しかも讀者が十人來るといふ約束の筈が三名より來てゐない。防害されたのだ。田舍の彈壓は、經驗のない百姓や青年にはよくこたへるからだ。

即ち、僕はこの讀者會の失敗を通じて、最近の警察網は「信書」の秘密すら奪つてゐる事を知つた。田舍の郵便局と結託して、僕等に來る手紙を見てゐるのだ。傳へ訊くところによれば「手紙」を見ても差支へない。どしどし嚴重に取締れといふ指令が出てゐるそうな。前記讀者會の事もこんな方法によつて彼等は未然に知つたのだ。警察が信書の秘密を奪つてゐる事は、その郵便局の配達夫が僕達に直接話した事だから間違ひない。運動上の通信は今後非常に巧妙にせねばならぬといふ事を知つた。こんな事を今初めて知つたのかと同志は笑ふかも知れないけれども

次に注意せねばならない事は、組織をするには全く人目にたゝぬ様にしてやらねば、組織着手前にでも警察の目に入つたなら、彼等は戸別訪問してゞも防害するから、組織が非常に困難だ。また地主の方でも、農民組合の出來ぬ內に幾分か讓歩して、腰をくだいて了ふ危險がある。一たん組織すれば、警察の防害も左程恐ろしくない。研究會等を通じて曝露して行くから大丈夫である。

もやは、華々しい所謂昔の「社會主義タイプ」の運動時代ではないのだ。秘密な組織運動を通じて強い力をつくり嵐に堪へる様にして行かねばならぬ時代である。

此の研究會は、いゝ加減に終へて、××君の調査にもとづいて官憲の裏をかいて、農民組合のB君は、暗い夜道を別な會場に走り、農民を集めて組合結成に取つた。

其處は田舍警察は甘いもので、別な會場でもつと重要な會合、即ち進めの研究會は青年のグループであつたが、此の別な會場の會合は相當年配の農民を寄せて、組合組織の協議が行はれたことは何にも御存じなく、「わずか二三名の研究會です、問題になりませんよ」と署長の前で報告してゐる事だらうとみんな大笑ひした。

其日來た臨監は無能な男でつまらぬ所で注意などするので「いつたい××主義とはどんな事ですか」と逆に質問されて目を白黒させたり「無産者、無産者といふが、要するに不平を云はずに、働きさへすればよい」とかブルヂョアの提灯持ちをやつて、同志にやりこめられて、今度は「要するに貧乏人が今日苦しむのは祖先の努力が足りなかつたからですね」とか、全くとんちんかんな事を云つて我々を苦笑させた。

研究會に失敗したが、そして可成り惡い結果をもたらしたが近い內に牢固たる組織が出來あがると同地の農民はいきまいてゐる。

一九二九、十一、二

××製菓工場より

米田生

俺は××製菓工場に働いて居る一勞働者です。俺の工場に働いて居る勞働者は皆んな階級意識なんて

全土戰報□□

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

のは此れつぱかしもない者ばつかりで、ブルの喰物に成つてちつとも意識して居らないらしい。

毎日工場に出て來て目茶苦茶にこきつかわれてちつとも不平がないらしい。いやない所か皆んなぐつ〳〵不平を云つてゐるが、それをはつきり認識して不平を統一することを知つてゐないんだ。

だから毎日ぶつ〳〵云つても要するにそれは個人的不平でそれをどうしていゝか解らんもんだから、結局話の中心は女の話や活動寫眞とか浪花節等の問題に移つてしまつてブルの思ふつぼにはまつてしまふのです。

どこの工場でもひどいのは、大した變りはないと思ふが、俺の所ゝ御多分にもれず賃銀は安い働く時間は長いし、仕事をしまつて歸つたらまつたくぐた〳〵だ。

全土戰報□□

十一時間も十二時間も働いてどうかした時は、夜九時十時迄も殘業と來やがる。これで居て日給一圓ぽつちりだこれでは毎月下宿代を拂へはしない。三十圓や四十圓でこの世智がらい時代にどうして生きて行かれるのだ。

それればかりか此のちよつぴりした日給の中からゴムの長靴や作業服を拵らへんといけないのだ、俺達は仕事に依つては毎日湯に足をして働いて居るから水虫におかされて指の間が腐つてつまつて歩く事も出來ない。夏は特にそれが甚だしい。それを豫防するにはどうしても長いゴム靴が必要に成るのです。ゴム靴がなくては歩く事も出來ん樣に成つて働けなくなるからいくら苦るしくともやつぱりゴム靴を買はないといけないのです。

それから資本家等といふ奴は、どれ位虫の良く出來て居るか解らない此處の工場は菓子を造つてゐるので貴婦人とかプチブルの暇な奴等が毎日見學とか云ふふれ込みで人の仕事をしてゐるのを見て享樂に來やがる。だから會社の方では小ギレイな作業服を俺達に強制的に造れと云ふのだ實にふざけた奴等だ。

何時迄も俺達は資本家の自由に成るのは嫌だから、働くに必要な一切の要具（作業服やゴム靴の類）の分配支給設低賃銀（一圓五十錢）制の確立殘業反對等々の要求を提げて會社と戰ふ前に從業員にアヂプロして勞働組合を造る爲に戰つてゐるのだ。當休にはいつでもグループの人達と研究會や懇談會を組織して着々手を着け初めてゐる。今年中には大たいの基礎確立に迄こぎ着け得る見込です。

全土戰報□□

ドブに投げ込まれた日本大衆黨島根縣聯の看板

細川儀太郎

日本大衆黨が如何に選擧黨であり、無産階級を踏み臺として、議會に打つて出ようとする議員病患者の寄り集りであるかが最近いよ〳〵露骨になつて來た。

去る十月十九日、ブルヂョア新聞は一せいに日本大衆黨本部の發表による候補者の顔ぶれを發表した。その顔ぶれの如何に八百長であり、笑止千萬なものであるかは何人もすぐ認めるところだ。

わが島根縣を例にとつて見ても島根縣第一區から松本淳三と麗々しく併出してある。松本淳三といふ男はどんな男であるか當地の農民は勿論相當な幹部級ですら知らない、島根縣に一言の挨拶もなく、本部が勝手にヨタ候補の發表をしたのだ。

「松本淳三とはいつたいどんな人ですか、島根縣聯合會はそんな人を押立てたのであるか」と、毎日の樣に黨員や組合員が訊きにくる。

私達があんな記事はヨタ記事で、と日本大衆黨の本質を曝露するや「そうだ〳〵。日本大衆黨支部の看板なんかおろして了へ。あんな政黨はクハセ物だ。俺達はだまされてゐたのだ」と一せいに同感して了ふ。大衆は何より正直であり、戰鬪的である。

日本大衆黨島根縣聯合會の看板は、今や、島根の戰鬪的農民によつて、どこかのドブの中に投げ込まれた。全國農民組合支部の戰鬪的な看板が新しくつくられ、進め社山陰支局の責任者も決定した。縣下の旱魃による小作爭議をとらへて全農の組織が伸び、トロール船によつて壓迫されつゝある漁村に日本漁民組合の結成が進められつゝある。われわれ青年の間には組合青年部の戰鬪的確立が問題とされ、活潑なる組織鬪爭が行はれつゝある。

安心せよ、全國の同志よ。

島根縣の勞働者農民は無産陣

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

全土戰報□□

當に派遣されたるブルヂョアの代理人が何であるかを見抜いてゐる。そのためにこそ、日本大衆黨の存在も何處かのドブに投げ込まれたのだ。

全土の日本大衆黨員諸君、即時、日本大衆黨ダラ幹との抗争を開始せよ。しかし、間違へてはいけない。ダラ幹との抗争も、單なる反幹部運動即ち勞農派のダラ幹攻撃であつては何にもならない。日本大衆黨ブッ、ブシの闘争でなければならぬ。社會民主主義政黨は有害無益なしろ物だからだ。

選擧黨日本大衆黨を粉碎せよ。

進め社主催濱口内閣打倒演説會

——海上二十里の隠岐國にて——

隠岐西郷一讀者

二十數萬圓の××を取つて旨く胡魔化しながら、國際帝國主義者の會議に、日本帝國主義者の利權を擁護す可く、海山越へて出掛けて行かうとしてゐる、若槻禮次郎の郷里にして現に今資本家地主の命を受けて日本の勞働者農民の×と肝を×り取る××の運轉手の役目を果しつゝあるところの民政黨の堅壘たる島根縣下そして幾百年以來忍從と隷屬以外に何ものも教へられることのなかつた封建的傳統强き、しかも尚その上に近代資本主義的賃銀奴隷の鐵鎖に縛せられつゝある、本洲を去ること遙かに十數海里の日本海の眞只中の孤島、隠岐の島にも、近代資本主義社會が生んだ××的階級のプロレタリアートの天にこだまする雄叫びの聲が擧げられた。

それは一九二九年十一月一日の出來事であつた。では、それは、誰がどんな事を仕出かしたのか？無産階級戰闘雜誌「進め」の發行所「進め社」の主催であつたと言つたゞけで大方は如何なることがなされたかは想像が付くであらう。

だが、單に想像だけでは往々にして割引があるから、何故か！それは社會民主々義者共の詭法辭があまねくこれ等の運動に祟つてゐるからである。

で、吾々隠岐の島のプロレタリアートは、全日本の我が進めの讀者諸君に此の事をレポートして、吾々隠岐の島の勞働階級も、全運動の一環として働いてゐるものゝ連帶的義務を果すのである。

即ち十一月一日夜七時から隠岐の島西郷町西郷劇場で、「濱口資本家地主政府打倒」大演説會が、我が進め社主催で催されたのであつた。

此の演説會のあることが發表されるや、此の土地の戰闘的プロレタリアートの一人で東西屋をやつてゐる○君の、應援を受けた。そして此の○君の東西觸れの文句が面白い曰く、

「今晩七時から西郷劇場で、濱口資本家地主手先内閣打倒、資本主義社會××大演説會をやります。主催者は、日本にその人ありと言はれたる、島根縣が生んだ國際的社會主義者濱田狂二氏の主宰する、無産階級戰闘雜誌「進め」の發行所「進め社」である。辯士は何れも進め社の本部同人で、勞働組合、農民組合漁民組合等の闘士ばかりで、虎や狼を取つて喰ふような豪傑揃ひである。働いても〳〵食うことの出來ない勞働者や農民、洋服着て偉そうに髭を生してゐても、年が年中ピイ〳〵風車の安月給取諸君、天晴主人面してゐても大商人や大金持に一生頭の上がらぬ、そんじよそこらの小商人諸君！大金持や大地主に無傍勝手な贅澤三昧をさせることを止めさせて、我々貧乏人達の利益を擁護して、お互が働き合つて氣樂に暮せる社會を造ることの相談をする今夜の演説會に押しかけよ！そして我々プロレタリアートの歴史的××的任務遂行の雄叫びの前に、ブルジョアジーをして戰慄せしめよ！東西々々」と。

かくて定刻前に既に、狭い片田舎の劇場に約千人の聴衆が集つた。會場の正面には、「資本家地主の政府を倒せ勞働者農民の××を作れ」のスローガンが墨痕鮮やかに掲げられてあり、その眞中には、やがては無産階級の實踐によつて、無産階級自身の血となり肉となるところの演題が掲げられたのであつた。

主催者側と、聴衆とは恰せずしてあだかも火玉の如き、熱と焔からなる、一つの魂となり、進め社同人たる、吉田源藏、神庭仲之助、谷口直平の各諸君の、肺腑を抉る如き熱辯に、耳を聳て、肩をいからせ、固唾を飲んで聴き惚れ、やがて千餘の戰闘化されたる聴衆は、司會者の音頭になる「資本家地主の政府を倒せ、勞働者農民の××を作れ、プロレタリアート萬歳」を唱へて、來る可き勝利を期して、闘争することを誓つて散會したのであつた。

かゝる戰闘的勞働者農民の勢力に恐れを爲してか、當地官憲は只々拱手傍觀何等の爲すところのなかつたのは滑稽千萬ではあつた。

工場、農村より レポを送れ

全土戰報を半年ぶりで復活した。本誌の戰闘的方針の確立と共に廣く工場勞働者、農村青年の支持を得て、工場農村に持込まれる様になつたので、從つて全國の生々しい闘争のレポが數多く舞込んでくる様になつた。しかし長い事休載してゐたので讀者は、原稿の形式で多く送つてくれない。雜誌の註文と一しよに書いたり、あまり簡單なハガキ通信だつたりしたので、今月號の原稿も少ない。從つて讀物もあまり良くはない。今後どし〳〵生々しい闘争のレポを送つて貰ひたい。

全土戰報□□

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

全土戰報□□

大衆黨の階級性とはこんなもの

神戶支局　古川敏

我れこそ「合法的左翼政黨」だの、階級政黨だのと言ひ觸らしてゐる、神戶の日本大衆黨の所謂「階級性」を少しばかり報告することゝする。

事は少し舊聞に屬してゐるが、そして當地方では誰も知らない者はないが、全國的にはまだ知られてゐまいから、これも一つ報告の一つに數へ上げて置く。

例の關西學院とか云ふ學校の敎授とか講師とか云ふ偉い先生で、阪本勝と云ふ御人、此の人は兵庫縣の縣會議員さんである。此の人は日本大衆黨と云ふ例の階級的政黨員だが、つい此の程、兵庫縣から囑託されて、海外へ御視察旅行にお出でましになつた。

名目は、諸君！有難いネ！「社會政策視察」だとよ！有難さが背身にこたへるやうに、「社會政策と云ふものゝ註釋を掲載して置かう。勞働者農民の辭書には「社會政策」とは「勞働者農民を搾取するところの最も進步せる技術の一方法である」とある。

諸君！よつて以つて阪本先生の御歸朝後の御活動や、その利益の奈邊にあるや推して知る可し。

それから、も一つ！これも日本大衆黨の階級性の迸り出た正眞正銘魂である。

時は昭和の四年十月も末つかたの二十九日、所は神戶市は海岸通り二丁目の商船同志會ビルディングの樓上で、以下のような會議があり、協議があり、決議があつた。

（一）議案

（1）陛下行幸に際して靑柿市議のみが何故通常服で議場に出でしや

（2）宇治電の市會議員招待會に靑柿君は何故出席せざるや

（3）日本大衆黨神戶市會議員森脇茲一君は、黨の方針通りブルジョア議員と行動を共にせしや

（4）吾黨は議員等が視察旅行の如きの場合、その途中の行動迄も統制を行はんとするか

（二）協議

右議案に對して

（1）日本大衆黨では禮裝出仕を指令したのに靑柿君は黨の統制を紊したのである

（2）吾黨は宇治電の招待には喜んで應ずる方針なりしに靑柿君は吾黨の方針を裏切つたものである

（3）森脇君は黨の方針通り終始一貫ブルジョア議員と行動を共にし、何等黨の統制を紊さなかつた

（4）吾黨はそんなことゝも考へたこともない

日本大衆黨の「階級性」とはどの階級に屬する「階級性」かな？諸君考へてくれ！こんな政黨に頭を下げてゐる樣な勞農派のいくぢなさも考へてくれ。

彈壓された吾が支局

××縣××支局

其後御無沙汰致しましてまことにすみません。益々御健闘の事と推察致します。私も其後あらゆる彈壓と戰ひつゝあります。御安心下さい。あの晩（三日）××さんを訪れて十二時過ぎに歸りました。其晩××村駐在巡査××は自宅を訪れたが私が夕食を終るとすぐ出た跡でしたから大變驚ろいたらしく同志の家は勿論其他大分村內を探したそうです。又自宅へ來た時に「今日來たものが必ず一人殘つて居る」と言つて私の服裝等をくわしく聞いたそうであります。何分あの時溫泉に巡査刑事達が七人も來て居たことを××は跡で誰れかに言つたそうです。明日もやつて來て私の昨晩の行動を聞いて歸りました。それから一週間ばかり何事もなかつたのでありますが今度は警察側から私達同志の一部が關係して居る靑年訓練所、補習學校に注意したのです。第一には私と會に列して居た××××（眼鏡をかけた洋服の男十七歲）と二人を別々に呼び出して色々聞いたし注意したのです。××は直ちに其場で止めたと斷言したそうです。警察側では××が同志の家へゆき親に向つて吾等の硏究會を惡く言ひ親から止めさせるやうに言つたりしたのです。親達も心配して子に注意するつまり吾等同志は警察と家庭と靑年訓練所學校と言ふ五つの方から「惡い事だ止めろ」と言ふのです。こうなると意志の弱い奴は皆やめて仕舞ふた。奴は愈々拗を增して私達にせめて來るのです。靑年閣訓練所學校の代表で校長が同志（私の從兄弟先日出席していなかつた）をさとして私に改心をさせるやうに言つて來たのです。（校長は私等か小學の一年生から卒業迄敎へられ今年十六年も勤續してゐる）私はそれに反對をして居る內村內に於て學校新築の事に關して戶主會が開かれたのです。戶主會には村內の戶主が殆んど全部集るのです、其の席上で私等同志の行動を話し斯の如き惡き危險思想が入つて居るから親達も充分注意して又そんな危險主義者と親しくするな、おかしい本を見る時は學校が駐在所で一應見てもらへとかまことに下らぬ事を學校長が話したので引續いて封建思想の白髮翁の村會議員、財產家の慾バリ屋の二名が恐しい事だなんて話した。（馬鹿野郞

以下略）

× × × × × ×

全土戰報□□

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

在日本朝鮮勞働總同盟の當面問題に關する意見書

——產業別編成と日本勞働組合全國協議會加盟へ——

一、

我が在日本朝鮮勞働總同盟は今未曾有の受難期にある、一九二八年五月の全國大會直後全國的に檢擧された所謂×[illegible]日本[illegible]て[illegible]、「[illegible]され[illegible][illegible]て[illegible]れつゝ[illegible]。[illegible]、[illegible]一[illegible]れて[illegible]階級の[illegible]しつゝ、[illegible]、として[illegible]分子[illegible]の××[illegible]彈壓をし、他方彈壓にひるむ一部の裏切者をその懷柔政策を以て奪ひ彼等を利用して組織内部からの破壞と無力化のために狂奔しつゝある。

而してかゝる支配階級の分割政策はそれ自身——若干であつたにしても——容易に鬪爭組織を攪亂することが出來た（この事は一九二八年末から特徴づけられ、五二三事件以後著しく擡頭したが粉碎された）そのために組織内部に於ける秘密は×の前に曝け出され實に澤山な同志が犧牲になつた。

[illegible]於け[illegible]て）等は殘存指導者間の理論的實踐的不統一を生ぜしめ或は個々ばら／＼な意見を主張してその結論をつかむ事が出來ず結局個々ばらばらな行動を取るに至り實に左翼勞働組合として許すべからざる個人行動を取る等、そして此等殘存指導者間に若干の暗鬪さへ生じたのである、更に斯うした指導者間の不統一の爲に組織は大衆を切り離れて全く無力化し、未曾有の「混亂と沈滯」に陷り一として全國的に統一されたカムパニアを起す事が出來ず組合は勞總に一應加盟してゐるといふ「名目」だけを保持し支部は組合に所屬してゐるといふ「名」だけに過ぎなかつた。

だがかうした支配階級の××的彈壓と陰險極まるスパイ共の「攪亂とデマ」、そして「指導部の不確立」と殘存指導間の不統一等々に依る鬪爭組織の「混亂と沈滯」にも拘らず勞働者大衆は全國到る處に自然成長的鬪爭に蹶起しつゝある。

斯かる種々の情勢の下に我が勞總は當面何よりも先づ「如何なる彈壓にも裏切者の出現にもユルグ事なき强力なる鬪爭組織」を築き上げる爲めの鬪爭を展開すると同時に更に一歩進んで當面の緊急なる重要問題——就中次の諸問題に對して勞働者大衆の利益を擁護し代表して最も忠實に且つ勇敢に鬪爭を開始しなければならない。

一、勞働者の極度の犧牲——勞働時間の延長賃銀値下又は不拂と酷使、産業の整理、又は縮少に依る失業の増大等——によつてのみ達せられる「産業の合理化」及び其他資本主義の安定政策。

二、切迫しつゝある新帝國主義戰爭の準備。

三、あらゆる形態の差別待遇と壓迫——就中勞働者及び其の前衛に對する彈壓、勞賃及び作業の差別、居住權の侵害、渡日勞働者の阻止、日本在住勞働者の放逐等

四、階級鬪爭の尖鋭化に伴ふて益々××化して擡頭する反動集團の跳梁等其他。

二、

既に見て來た如く勞總は現在未曾有の「混亂と沈滯」に陷ち入つてゐる、然らば何が今日勞總を斯くも混亂と沈滯に陷し入れたか？といふこの事を明かにし其の誤つた方向を清算し正しい軌道の上に導くことに依つてのみ明日の名實共に左翼勞働組合としての勞總を築き上げることが出來るのである。

勿論支配階級の彈壓の爲めでもあらう。又スパイ共の策動の爲でもあらう、だが我等は勞總の混亂と沈滯の根本的原因として次の三を上げる。

一、工場に基礎がない事

此事は組織と鬪爭を街頭的たらしめるばかりでなく少しの彈壓にも對抗し得ず從つて前衛分子は容易に逮捕されスパイ共の策動は容易に成功するだから斯る組織は××的組織たり得ず無力化され破壞され易いのである。

二、勞働者の產業別利害を混同した處の「雜多産業の混合組織」である事

此の爲めに各産業別に其の勞働者の特殊性に應じて鬪爭する事が出來ず從つて勞働者の個々の産業別の特殊的要求を取り上げて鬪爭する事が出來ない。だから勞働者を其の日常經濟的利害と結びついた統一的鬪爭に動員する事も出來ないで、一般的民族的（個々の産業勞働者の具體的な要求と離れた）要求を掲げた若干の共通點を見出し其の鬪爭に終始した、現在の勞總の組織のそれ自體がかゝる鬪爭以外に勞働者の共通した要求を掲げて、鬪爭することは出來ないだから勞働者の日常經濟的利益擁護、獲得のための鬪爭は行はれず、若干の共通點を見出し得る民族的鬪爭のみで、鬪爭を抽象化した結果全く動きの取れぬ樣な混亂狀態に陷つた。

三、一産業一組合の左翼勞働組合の組織原則に反して民族的の組織である事。

此の組織形態は勞働者の日常鬪爭に實に大きな障害となつてゐる、例へば或工場の從業

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

員の二割か三割（五百人以上の工場に二、三割を占めてゐるのは關西地方の二、三を除いては全國に三、四ヶ工場位しかない）しか占めてゐない朝鮮勞働者のみ「民族的で差別待遇撤廢」なる要求を揭げてストライキを決行したとして、果してその要求を戰ひとることが出來るか？斷じて出來ない！（我々の今日迄の幾多の鬪爭の實際的經驗は之を雄辯に物語る）要求其ものは民族的であつても「民族的鬪爭」に依てそれを獲得する事は出來ないのである、即ちその工場の大部分を占めてゐる日本人勞働者がその鬪爭に參加しなければ資本家は何等の苦痛をも感じないからである又朝鮮勞働者は一般的に技巧が幼稚であるから「苦痛を感じない」のみかすぐ補充がつくのである、だから工場内に於けるあらゆる鬪爭は慘敗に歸し、勞働者は組合に對して信頼を持たないやうになり、或る地方に於いては「勞働組合も相愛會も同じ朝鮮人の團體だからどつちの會員になつても同じだ」といふやうな言葉が勞働者の口から漏れることさへある。

此れで最も中心的な根本原因が明かになつた。我々は今やあらゆる苦難と鬪ひ此等の情勢の下に新たなる戰術戰略を樹立し勞總を正しき軌道に導かねばならぬ。

三、

以上の如き狀態にある勞總の組織と鬪爭を如何に正しき軌道の上に導くべきか？そして「如何なる彈壓にもスパイ共の策動にもゆるぐ事なき組織」を築き上げ、左翼勞働組合として最も忠實に勞働者の利害を代表して鬪爭する事が出來るであらうか？以上見た處の客觀的條件――既にあげた諸々の事實に鑑み我々の當面の具體策は次の如くでなければならぬ。

（一）工場を基礎に組合を再組織する事（二）組合を産業別に整理し、産業別鬪爭を起す爲めに産業別（宣傳、煽動）委員會を設置する事（三）左翼勞働組合の組織原則に基いて在日本朝鮮勞働總同盟を解體して日本勞働組合全國協議會に加盟する事、等

（一）工場を基礎に組合再組織する爲の具體的方針

「工場を基礎に組合を再組織」する爲には次の如き方針に依て爲されなければならない。

A、從來の工場勞働者と自由勞働者を混合して組織した街頭地域班を解體して職場に班を組織すること B、失業以外の街頭地域班所屬の勞働者が五人未滿で獨立の職場班を組織し得ない場合でも之を街頭地域班から切離して職場（工場）班組織準備會を組織して組合員獲得運動を起すこと C、斯くて工場勞働者は工場班に、自由勞働者は工事現場班に組織される、此場合特に注意を要する事は班の任務を全成員に徹底せしめ、班活動の分擔をキチンと行ふこと D、斯く職場中心に再組織された班を基礎に組合機關の再組織をなすこと E、組合のあらゆる機關（執行委員會、常任委員會等々）を工場の組織責任者であり現に工場に働いてゐる勞働者を以て再編成する、F、工場の組織責任者でなく失業勞働者又は工場内の大衆鬪爭の經驗なきインテルゲンチャ出身の鬪士は悉く之を未組織大衆に配置しその組織鬪爭を通じて訓練すること、之等の諸君は又組合に於ける事務的な仕事を受持ち新に組織された、組合幹部の任務を助けること G、以上の再組織鬪爭即ち組合全體を工場班を基礎に再編成する爲めに先づ各班、支部、本部を通じて優秀た分子を網羅して（現在の組合の役員のみに依てでなく組合全體を通じての組織的の才能のある者を悉く網羅して）「組合再組織委員會を組織してそれに依つて各地方の特殊事情に適した方針を立て、組合員全體を此の再組織の鬪爭に動員すること H、此再組織委員會の活動を尤も有効に遂行する爲めに「再組織ニユース」を定期に發行し充分に利用すること（このニユースは再組織委員會解體後にも何等かの鬪爭に利用すること）I、云ふ迄もなく再組織の鬪爭がある程度迄進展すれば再組織委員會は必ず解體しなくてはならぬ。（新潟、愛知等の場合は再組織委員會を組織する必要はない。）

（二）組合を産業別に整理し産業別鬪爭を起す爲めの具體的方針

以上の再組織の鬪爭が進展するにつれて工場班、工事班が組織される、この工場別に組織された班を中心に産業別委員會を組織しなければならない、そして次の如き方針に基いて産業別鬪爭を起さなければならない。

A、産業別に整理し産業別鬪爭を起す爲に産業別工場勞働者を中心に組合組織部の下に産業別委員會を組織し之を既存の産業別組合（協議會加盟の）に結合統一すること B、産業別委員會のニユースを定期に發行し産業別鬪爭の宣傳煽動に利用すること C、産業別委員會は「産業別全國協議會」例へば「金屬全産業全國協議會」の行動綱領を其工場の組織的要求と結びつけて同一産業勞働者を此の共通した要求の下に結合しその鬪爭に動員する爲め宣傳煽動を行はねばならぬ D、産業別委員會は目標工場を決定し、その工場の勞働者の不平不滿を調査し、其の特殊性に應じてスローガンを決定してアヂプロすること E、目標工場が決定されると同時に其の工場の組織責任者を決めて之を配置すること（組合内の總ての組織的才能のある鬪士は一人殘らず目標工場の組織責任者にならなければならない）F、斯かる鬪爭を通

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

じて産業別單一勞働組合形成の方向に進む、そして以上の總ての鬪爭を協議會加盟の産業別組合と結びつけ或は結び付くべく努力して協議會の指導を受けるやうにしたければならぬ(此の事は協議會の指導がなければ産業別鬪爭を開始してはいけないといふのではない反對に産業別鬪爭を展開しつゝ協議會の指導と結び付くやうにするのである)。

(三)勞總の解體と全國協議會即時加盟の爲めの鬪爭の具體的方針

この全協加盟のための鬪爭は斯樣に切り離すべきものではない、以上の産業別鬪爭の過程が卽ち全協への實質的加盟の鬪爭の過程である、だが特に加盟の爲めになすべき鬪爭の具體的方針として擧げるならば

A、産業別委員會を、各地方の現在の協議會加盟組合に依て編成され、又され樣とする「産業別地方協議會」に結合すること(これは(二)のA及Fに於て示した如くである)B、組合のあらゆる會合、出版物を通じて全協参加の理論的根據に具體的事實と結び付けて宣傳、煽動すること C、(かゝるアヂプロの爲め各地方協議會、又は産業別地方協議會ニュースの朝鮮語版を發行することを提案し、承認を得て實行に移す、又現在日本語で發行されてゐる「ニュース」に絶えず朝鮮勞働者の鬪爭其の他を報導し日本人勞働者にも民族的偏見打破のためにアヂプロすること D、工場内に於ける不平不滿は如何程微少なものであつても之を日本人勞働者と共通の要求に結び付け統一して、朝鮮勞働者のみの要求、或は日本人勞働者のみの要求にも工場の全從業員を動員する樣にする事 E、工場内に於ける要求と結び付て民族的問題にも日本人勞働者を動員する樣にしなければならぬ。F、若しも組合の現幹部の中、斯かる鬪爭に反對する者があれば××的勞働者はこれらの幹部を裏切者ダラ幹として徹底的に排擊しなければならぬ。G、斯くして教育に依るものと實際的共同鬪爭を通じての者とに依つて民族的偏見打破のために全精力を集中すると同時に協議會の各地方組織に直接參加していく。

斯かる幾多の事業は短時日間に遂行することは勿論困難である、だが我々は少くとも斯うした方向に全鬪爭力を集中しなければならぬ。

組合の再組織の鬪爭と産業別鬪爭を通じて全國協議會に加盟し、組合は現在工場に働いてゐる勞働者に依つて編成される。そして組織の××××化の爲めに從來の派的或はセクト的一切の惡傾向を清算し思想的にも組織的にも××的統一を圖り、××的强力な從つて敵に對して强力に戰ひ得、自主性に富み敏活な鬪爭をなし得る組織にしなければならない。

四

以上に於て三ツの具體的方針が明かにされた、だが問題は之を明かにしただけでは解決しない、之を實行に移すことが重要であるのだ。最後に當つて先に上げた三ツの具體的方針は決して段階的に機械的になすべきでなく、それぞれの特殊的事情に從つて柔軟適屈性ある戰術を以て實行に移さなければならぬ。我等は全協の同志諸君が此の偉大なる組織×××××化の事業に對して滿腔の熱意を以て總ての生活を捧げられん事を期待するものである。

一九二九年十月二十九日

在日本朝鮮勞働總同盟
關西地方協議會

資料

朝鮮社會運動小史〔六〕

裴成龍
KKM譯

(約六十行省略)

次に、續いて突發したる事件が彼の四月十五日より檢擧をし始めた『黑旗聯盟』と稱する秘密結社事件である。

この運動は、事件の計劃中暴露したもので大した注目すべき事件ではないが、無政府主義者の集團的行動としては朝鮮に於ける最初の出來事である點で有名である。

斯樣にして黑旗赤旗の兩事件に關聯したる檢擧範圍は漸次擴大し二次三次に亙り檢擧されたる者の數は六十餘名檢事局に移送された者の數は三十餘名に達した。

× × ×

この年に於ける運動の特記すべきものは彼の「無産者同盟會」と「朝鮮勞働黨」(後に兩派分裂)。北星會、火曜會等四個の思想團體の合同したる事實で之は勿論全朝鮮に於ける運動戰線の全部的網羅したるものではないが兎角分裂に分裂を重ねて居た當時のことであるため整理上の努力と統一上の活動が足りない時、例へそれが「自派勢力を擴張せんがために爲したる合同」であると世評を受けたにしてもこの四個團體の合同は事實上朝鮮に於ける運動戰線の當然なる過程として一條の指導光明を示したるものである點に異議はない。

四月十七日に至り同四個團體の合同大會を開催せんとするや當局に開會數時間前に至り突然集會禁止を命じられて仕舞つた。當局の斯る暴態は集會そのものゝ禁止を命ずるに在るものでなく、その根本的原因は該四個團體の合同擴大を恐れることにあることが、致

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

回に亘る當局との交渉に依りて解つたものである。

　けれども合同といふものは大會を必らず持たねばならぬといふ必要はない。持てばそれに越したことはないが斯る事情に依り該四個團體は一個の會館にそれぞ〵の本部を置き合同委員會といふ名議で事實上の合同行動を遂行し對外關係に當つたものである。而して問題の例の治安維持法は一九二五年五月十二日より實施されたもので、その後に於ける社會運動方面に對する取締りは益々苛酷を極め猛威を振つたものである。一九二三年東京地方震火災事件突發以來當局の朝鮮運動に對する取締方針の抑壓態度が激變したものであるが、治安維持法實施以來之に對する態度は高騰以上の高騰の極に達したけれども社會運動は資本主義社會の内部に於て、しかも强大なる權力の下で發生成長するものである。（中略）解放運動に立てる闘志は之に屈せず盛に尖鋭化し潜行的に運動が强化擴大したものである。（中略）

　當時朝鮮青年總同盟執行委員懇親會が開かれ決議された條項があるが之は即ち朝鮮に於ける勞農運動の本據地である農村無產階級運動の原動力である農民を啓發せんがため農村事業專門委員部を新設した。而して、青年運動をして一般大衆運動と緊密なる接觸を計らんとするもので朝鮮に於ける青年運動が之より實際化したる傾向を示すものである。

×　×　×

（中略）

　八月二日の京城市内十七團體聯合發漢陽青年聯合會の創立を見た。その發したる決議を略示せば

一、方向問題――朝鮮に於ける青年大衆を全部包含される範圍即ち勞働青年農村青年社會主義青年民族主義青年インテリヂンチャ青年等全體を容認することが可能なる綱領を掲げ朝鮮青年運動をして定つた一部分的運動たらしめず民族的に大衆的にならしめるやう

二、綱領――

1　我等は智識の向上と實力の養成を期する。

2　我等は相互親睦と團結を圖る

3　我等は正義を以て社會奉公を誓ふ。

等であり、他に政策として組織問題に於て

1　青年團體の基本組織策として都市と農村を二分して、其の前者は、（イ）一定地に青年會を組織し、（ロ）職業別に青年會を組織すること、後者は、一定地帶に地方青年會を組織し一面（一町村）一會主義を取り無組織青年は豫め教養機關に集中せしめた。

三、青年團體聯合機關として（1）地方聯合機關に都市に於ては區域青年會と職業別青年會を網羅して都市青年聯合機關を組織し、農村に於ては郡内青年團體を網羅して郡青年聯合機關を組織し（2）道聯合機關と、郡青年聯合機關を單位として道聯合機關設置の件を決議した更に教養問題としては

一、自體の教養としては定期的に研究會、討論會、講演會講座、巡廻文庫を設置すること

二、對外教養としては勞働夜學、女子夜學、通俗講座等を設從せんことを決議した。宣傳問題其他進行方針等の決議事項の内容は省略す）

×　×　×

（此間約五十行原文粗校の誤りのため省略）

×

　九月十二日に開廷された共產主義宣傳事件の公判があり（中略）京城の思想團體として李廷九、朴衛秉、李英、故金思問等諸君の發起で前進會が十年に創立され、北風會、火曜會と共に全國的に運動者を糾合する社會運動線上に有力なる團體である。

　農村に於ける小作爭議等は日を追ふて形勢が險惡化し、小樽高等商業學校の假想敵國問題も頗る大問題であつた。また、京城に開かれる朝鮮日曜學校大會を機會として漢陽青年聯盟が主體となつて起した反基督教運動は社會にその意義を示し、以來各地に頻々として反對派對信徒の舌戰と肉迫戰が續出した。

　十月以來各地に於ける青年團體は郡聯合體、道聯合體の組織が盛大に行はれ仁川青年聯盟、開城青年聯盟、全北青年聯合會等の創立を觀るに至つた。

　十一月末に起つた釜山印刷職工同盟罷業は其組織的行動との鞏固團結は實に驚くべきもので全釜山の印刷營業は一時全部休止の狀態となつた。

×　×　×

全朝鮮を震動せしめた朝鮮共產黨事件の最初の發覺が行はれ、秋以來社會運動家の活動は、更に激烈となり、また赤露の首部に位置をく國際農民組合委員會にて多額の朝鮮水害罹災民救濟金が送られたゝめ當局の監視はいふまでもなく、朝鮮全道に亘り大檢擧が新義州警察署の手に依りて續行され、京城の四團體合同委員會、勞農同盟、漢陽青年聯盟、新興青年同盟、女性同友會、平壤勞働同盟の重要幹部を始めとして馬山、大邱江華、新義州、元山等各地に於ける各左翼團體幹部及運動者の多數を網羅せる大事件があつた。

　十二月二十四日京城に於ても檢擧があつたがその前已に十二月二日より新義州に多數の運動者が押送され、事件の範圍は更に擴大し、新聞其他の同事件發表は勿論禁止されたが一般民衆は不安に不安を重ねた、けれども底知れぬ嚴肅さの中にこの年が暮れて仕舞つたのである。

（來號完結）

×　×　×　×　×　×　×

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

特別讀物

社會主義運動思出話（其十三）

――日刊平民時代（續）――

岡野辰之介

五、特約執筆家田添鐵二

田添は軟派の急先鋒であつた。西川も軟派であつたが、西川は足尾事件勃發するや特派せられて宇都宮まで行くと、ドッコイ待つて居ましたと引つ捕へられてしまつたので、紙上では田添が軟派の代表であつた。勿論當時片山も軟派であつたが、片山は明治四十三年一月の市電大ストライキの時、煽動助勢したといふ廉で三月喰つてから、スッカリ硬化したのである。同ストライキは暮れの大晦日から始まつて、三ケ日は一臺の電車も通はず、實にのどかな春であつた。こんなに手際のよいストライキといふものは、未だ曾て見たことがない。片山は各所で各會社の攻撃演説をして、煽動助勢に問はれたのである。

田添は熊本の人、明治六年生れであつた。熊本英學校、文學論會等に學び基督信者となつた。後長崎に遊んで鎭西學院を卒業し、三十年六月米國に渡り、ベーカー大學、シカゴ大學等に學び三十三年末歸朝、翌年長崎繪入新聞主筆に聘せられ、三十五年鎭西日報に轉じた。三十七年三月上京して居を小石川久堅町にトし、社會主義の爲めに奮闘した。日刊平民起るや特約執筆家として、常に筆を載せて居たが、幸徳と堺が社から出て社外から助けることになると、田添が之れに代りて毎日やつて來た。そして殆んど每號軟派の主張を載せた。錦輝館に於ける社會黨大會でも軟派を代表して長廣舌を振つた。

幸徳と堺とが社から去つたのは、當時二人は五十圓づゝ月給を取つて居たのであるが、社運日出度からず百圓の月給が拂ひ切れないので、二人は他で衣食の道を講じ、只で社の仕事を助けるといふのであつた。

田添は日刊平民設退後の四十一年三月矢張り肺病で死んだ。年三十六。「經濟新化論」「社會主義史」等の著がある。夫人幸枝女史は繪書きであつた。第何回かの文展に出品すべく「力の體現」といふのを書いて見事落選した。其の畫稿を平民に何回も書いたものである。後女史は上州の何とか學堂の繪の先生に雇はれたが、今はどうなつたか知らぬ。

六、同竹内餘所次郎

竹内は加州金澤の産であるが早く北海道に移り、藥屋をやつて居た。藥屋といつても村田の夫れとは異つて、彼は藥劑師だつたのである。後東京に移り柏木で藥屋を創め、傍ら日刊平民に「東京の大地主」と題する續きものを載せた。此の男は非常に海外發展的氣性に富み、一生を南船北馬に終つた。日刊平民が倒れるや北米サクラメントで發行された何とか新聞に聘せられ、兩三年で歸朝してから臺灣總督府の役人になつた。今度は平民病院の藥局に勤めたかと思ふと、再び臺灣に行つたり、臺灣に居るんだと思ふと大阪の天王寺から上京するといふ具合に、實に席暖まるに遑なく、震災前コーヒー王を夢みて南米ブラジルに家族と共に移住し、間もなく同地で死んだ。六十幾つかであつたらう。

人と議論をするときはムキになつて口角泡を飛ばし、實に侃々諤々であつたが、議論が濟むと象のやうな眼をして、大きい口を一層大きくして、ニコ〳〵と笑ふ男であつた。

七、會計課長村田四郎

村田は大塚終點の今市電車庫の邊りで賣藥屋をして居た。あの邊一體に麥畑であつた時に越して來たので、大塚の草分けともいふべきであつた。彼れが此所へ移つて來る迄は日本橋西河岸に住んで居た。村市（村田市兵衛）といふ干物問屋の二男坊だつたが、兄の市兵衛が肺病で家業が出來ず、店を仕舞つて郊外の淸閑な土地へ引込んだのである。チットは有金もあつたらしいが、賣藥業とてホンのお茶代なので、日刊平民に少しばかり出資して、其の會計係りを承つた。村田が同志として知られたのは此の時からである。頭腦明敏で計數に長じ、大言壯語もせず、何所か大家のお坊ッちやんといふ風があつた。軀幹長大で砲兵に取られた程であるが、遺傳といふやうなものだつたらう、後に肺病になつて喀血した。海岸へ轉地をしたいが、金がなくて出來ない。母が着物をウント持つてるが、夫れを賣つてゞも海岸にやつて呉れると宜いんだが、自分の母は子供の生命よりも着物を欲しがるんだから……といつて、屢々岡野に憤慨して聞かせた。併し岡田式の靜座をやつて肺病は癒り、明石屋治右衛門（渡邊）とは親類關係があり、渡邊福三郎とは同年輩で親善だつたので、大逆事件後同銀行に勤めた。そして漸次重用せられて、彼の銀行界未曾有の大恐慌時代には、同銀行貸附課長となつた。そして渡邊

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

銀行があの醜體をサラケ出す前死んだ。彼は前に肺病をやつたことがあるけれども、其の死因は肺病ではなかつた。彼は其の地位が地位だけに、渡邊銀行の破綻はよく分つて居た。そして責任感の强かつた男だけに、多數の預金者に申譯がないと思ひ、毒をあふつて死んだのである。死を以つて預金者に申譯をした貸附課長と、巨萬の私財を積んで之れを預金者に提供することをしなかつた渡邊と、一は無產者の氣魄を語り、一は資本家の慾張りを、實に物語るものでなくて何んであらう。

こんな話がある。彼は以前同銀行の月掛け貯金の勸誘をした。其の頃堺利彥夫人爲子の方が百圓の月掛け貯金に這入つた。それが彼れの死ぬ前に滿期になつて居たのを、彼は銀行から引出して家に歸り、堺爲子に渡す暇なく冥土に急いだ。併し、其の行き道を混亂させて置くやうな役ではなかつた。チャンと堺爲子樣と上封に書いて、机上に載せて死んだのである。堺爲子は思ひ掛けなく百圓もうける所であつたが、銀行の內幕を知らないから、折角村田が有るかなしかの銀行の金庫から取つて來て呉れた百圓を、再び同行に預けてしまつた。そして一月經たぬに同行の休業となり、閉鎖となり、破綻となり、村田の心盡くしの百圓は酢ッ張り浮ばれずに終つて、堺夫人は口惜し泣きに泣いたといふことである。又村田はヨク藤田浪人が繩帶なんか締めて銀行へ來て「昔は村田も俺達の仲間だつたなど」、大聲に怒鳴られるには頗る閉口する」とこぼしたものである。

八、校正課長德永保之助

德永も江戶ッ子であつた。何んでも父は御家人か何かのやうに聞いて居る。週刊平民に給仕に這入つて校正を覺へ、週刊沒落後國光社の校正係りとなり、日刊平民には校正長として聘せられたのであつた。其の後幸德が大和の松井柏軒に紹介して、其所で校正係りをして居たが、累進して校正長となり、編輯となり外國電報係りとなつたが、遂に肺病になつてやまとも御拂箱となり、大震災後死んだ。德永は英語も讀めたし、佛蘭西語もやつて居たし文學的に大に發展することを期待したが、身體が弱かつたので何等爲す無くして終つたのは惜しい。

彼れの兄は國之助といつて、讀賣の政治部次長といふ榮位に昇つたが、之れも肺病で弟に後るゝ一年ばかりで死んだ。

既掲の寫眞に出て居る日刊平民の同人で死んだのは赤羽、山口、安成（社員ではなかつた）、森近、齋藤、村田、德永及び幸德（之れは寫眞に撮らず）と原（之れも居ない）との九人である。秋蕭條だ。生きてる人間の中でも二十年一日の如く運動して居るのは荒畑、堺、山川、石川（八年ばかり佛蘭西に逃避して居た）の四人だけで西川は「改心語」を公にして去り、他は生きてるのか死んでるのか分らない。

吉川世民は寫眞に撮つて居らぬ。（未完）

資料

幸の湖擁護同盟趣意書

註。本年初頭の湖蒸リーフレットは、麻布、河野、石山等に關する幸の湖事件の眞相を曝露した。彼等はこれに對して、事實無根の聲明をなして隱蔽せんとしたが、問題は大衆の明瞭に知るところとなつた。（進め、二、三月號を見よ）われわれは、最近當時石山、麻生等の組織した幸の湖擁護同盟の聲明書と趣意書を手に入れた。思ふに、後世昭和時代における社會主義運動思出話を執筆するものがあらば、極めて好個の參考資料であると考へる。

趣意書

天下の景勝大日光を中心として、吾等は玆に幸の湖擁護同盟を組織する。

今や財閥古河の嚢底には、畏くも明治大帝の御名あらせられし幸の湖は一個の金儲けの對照物としてのみ映ずるに至つことを甚だ遺憾とする。

由來一資本家の魔手によつて、山紫水明の地にして、忽ち破損せられたる個所少しとせぬ。本縣に於て古河鑛業所は縣府谷中村を亡し、渡良瀨川の水源を破壞し今尙沿岸民をして寒心せしめつゝあるのである。

更に聖地幸の湖をして之が利權を獲得せんとするは我等の座視するに忍びざるものである。

一、度水利權が一資本家の手に掌握されんか、其將來に及ぼす弊害は推して知る可しである。我等は幾多の實例を見る。過去現在迄の幸の湖をして、大自然の美に憧れよと天下に誇つた。然るに萬一之が一度財閥に許可されんか、取りも直さず營利を主とせる一古河會社の貯水地と化す迄である。

不幸一財閥の貯水地とならんか、之をして大自然の幸の湖として紹介せんか、之こそ明治大帝の聖慮に添はざるの甚だしきものにして、而も滿天下を欺く其の罪萬死に價する。加之幸の湖の存在意義に如何に大なる變化を來すか思ひ半ばに過ぐるものがある。

玆に本同盟の組織必要を痛感するものである。從つて本同盟は單に幸の湖のみを擁護し、古河の暴擧にのみ反對せんとするものでは斷じてない。我等は永久に大自然として、之を擁護し、以つて後世に誇ると共に、苟しくも大日光を犯さんとするものゝあらば、之を永遠に排擊しなければならぬ。聖地幸の湖は勿論、華嚴の瀧を初めとし、全日光の擁護を念とし、更に進んで協力一致大日光の建設に向つて努力することを誓ふものである。

天下同憂の士は振つて、參加協力せられよ

昭和三年九月十四日

幸の湖擁護同盟

本同盟の標語

□聖旨を奉戴せよ　□幸の湖を死守せよ

□古河の暴擧を阻止せよ　□聖地を守れ

□大日光を建設せよ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

編輯後記

一九二九年の最終號を、戰鬪的勞働者農民支持のもとに發行する事は本社の喜びに堪へないところである。本年度に於いて進めが如何に戰つて來たかといふ事は、本號卷頭言は簡單ながら示してゐると思ふ。尙しめくゝりとして下段に列記した本年度進め內容一覽表を對比して見られるならば、如何に進めが進出し轉換した事が明かであらうし、又發賣禁止の回數、休刊の回數を見らるゝならば、如何に政府の彈壓を受けた事を知らるゝであらう。來るべき年においても進めは鬪爭するであらう。それは同志諸君の支持なくして不可能である。

同志よ、腕をくめ、新しき鬪爭の年に備へて。

一九二九年度進め內容一覽表

一月號(發賣禁止)

更に十二萬合同へ……卷頭言
五黨合同協議會批判……羽田光雄
社民黨第三回大會見聞記……高木顯夫
青年戰線確立への鬪爭……上杉定義
結合の前の分離……辻井民之助
搾取行刑政策と自由勞働者の失業關係(二月號迄)……加藤利藏
社會主義運動思出話(二、三、四、五、七、八月號續載)……岡野辰之介
黎明の小作人(創作)……中島安太郎
老勞働者(創作)……吉田金重

二月號

清黨運動の立場を明かにす……卷頭言
日本大衆黨の結成と左翼分子の任務……吉田源藏
凱歌をあげて次の鬪爭へ……中川徹
清黨運動に關するハガキ回答……
清黨運動の世界的階級性……吉田源藏
利權政治に反抗して岐阜農民暴動す……工藤勝市
支部より手を引け……佐々木敬三
日大衆黨の結成と左翼鬪爭の飛躍的展開……伊倉紫郎
理想鄕を造らんとして支那革命に從ふ……福田狂二
紡績工場小景(戲曲)……土佐和芳
漂泊の旅(創作)……吉田金重

三月號

三月十五日を記念せよ……卷頭言
反動日和見左翼彼等の歸結と我等……川崎茂
清黨運動同盟鬪爭顚末記……
理論鬪爭時代と清黨運動時代……吉田源藏
全國勞農青年同盟の反動的傾向を克服せよ……清水宜一
清黨運動は如何なる處まで進展したか……重松清美
自殺外交……佐々木敬三
勞農青年同盟の危機と鬪へ……中川徹

四月號

日本大衆黨全國大會の階級性を守れ……卷頭言
山本宣治氏の死は何を教へるか……下村靜夫
白色テロルと抗爭して山宣を弔へ……敎氏
第五十六議會の反動性……佐々木敬三
第五十六議會を通じて見た田中內閣の運命……
全國農民組合第二回大會宣言……
無產青年政治教育の任務(草案)……全國勞農青年同盟
朝鮮社會運動小史(五、七、八、十月號續載)……裴成龍
市町村會選擧の目標……石川力三
移住民(創作)(五月號に續載)……金光旭

五月號

總罷業を以てメーデーを守れ……卷頭言
メーデーを鬪爭せよ……佐藤茂郎
農民に土地と自由を與へよ……伊倉紫郎
常に一步を踏み出し得ない左翼……吉田源藏
資本家地主の警察行政に關する質問……山本宣治
沒落過程にある蔣介石……島津允義
全國勞農青年同盟東京府支部
鬪爭方針書草案……
愛國無產派の出現と勞農派の孤立……下村靜夫
勞働移動シーズンに跳梁する惡人夫屋を警戒しろ……加藤利藏

七月號(發賣禁止)

日本大衆黨の分裂……卷頭言
全國勞農青年同盟の解消過程……花村菊夫
全產業勞働組合の反動性……千波榮一郎
無產者新聞發行禁止反對……布施辰治
日本大衆黨分裂萬々才……下村靜夫
日本大衆黨の崩壞……吉田源藏
コミンテルン第六回世界大會の歷史的成果(八月に續載)……ブハーリン

八月號(發賣禁止)

××黨事件のあらゆる宣傳と戰へ……卷頭言
組合同盟の新たなる動搖とその方向……木下八郎
勞働に於ける勞農派除名と解消の問題……下村靜夫
自主的組合青年部確立に關する方針書……全國勞農青年同盟
汎太平洋勞働組合書記局万才……
東京朝日子、勞農黨子爭議に現れた……
社會民主々義者の裏切り……廣瀬資
地主王國の久根裁判……布施辰治
東支鐵道問題……佐々木敬三
濱口內閣は勞働者の味方か……關東出版勞働組合
研究會の組織方針……花房靜夫
赤い椿の話(童話)……土佐和芳

十月號(發賣禁止)

新勞農黨樹立絶對反對……卷頭言
反動幹部を暴露した關東合同第五回大會……青山欣夫
日本運輸分會組合における契約組合長の裏切り……
全農府縣聯合會青年部組織方針書……
國際的ブルヂョア支那攻撃……佐々木敬三
東支鐵道回收に對する檄……コミンタン
農民運動の正體……全農關東地方協議會
新勞農黨反對の聲明書……
勞農の××的同盟……コラロウ
水葬(戲曲)……土佐和芳

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

内面艶消

新マツダ

もちよく明るく電氣がお徳

澤之鶴

大黒

粟おこし
福おこし

總本店　大阪あみだ池
店主　小林林之助
電話　新町(53)
特長、一八五四
二一〇六
二三〇四
二三〇五
長、三一六九
振替口座大阪四三五

婦人良薬
喜谷實母散

産前、産後、
血の道、引風、
冷込等に特効有

▲全國到る處に販賣す

本舖
東京京橋區中橋大鋸町
喜谷市郎右衛門
電話京橋　五五番　五六番

ヱビスビール

清涼飲料

リボンシトロン

ビール界の覇者

時計

東京 玉屋 銀座

電話京橋三〇五・三〇六・三〇七・一八〇一・一八〇二

森永

ミルクキャラメル

週刊 月曜日發行

日本社會運動通信

―(掲載要目)―

無産政治運動
勞働組合運動
勞働爭議
農民運動
小作爭議
電燈料値下運動
電車爭議
俸給生活者運動
水平社解放運動
無産青年運動
無産婦人運動
消費組合運動
國際情報
植民地諸運動
勞働賃銀調査
物價經濟調査

定價 1ヶ月20圓 1ヶ年200圓

日本社會運動通信社發行

東京市芝區櫻田本鄉町一四

振替東京七八五五九番・電話銀座五五四一番

東京上野 良品廉實 銀座

大阪日本橋 實用百貨 名古屋

松阪屋

大正十二年一月三十日第三種郵便物認可
昭和四年十二月一日發行
昭和四年十一月廿八日印刷納本

第七年第九號
每月一回一日發行

定價一部十錢（郵稅五厘）半年六十錢 一年壹圓（稅共）
廣告料 一行一圓 一頁三百圓

發行所 東京市外大井町阪下二六八〇（振替東京六六〇三三） 進め社本部
發行人 [illegible]